

学校コード F128310108883

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の設置

注1

**届出**

注2

武庫川女子大学 建築学部

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人武庫川学院

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人室法人課

職名・氏名

電話番号 0798-45-3512

（夜間） 同上

e-mail hozin@mukogawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## 建築学部

<建築学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	23
4. 既設大学等の状況	24
5. 教員組織の状況	27
6. 附帯事項等に対する履行状況等	52
7. その他全般的事項	53

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人武庫川学院

## (2) 大学名

武庫川女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒663-8121

兵庫県西宮市戸崎町1-13

(〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオカワラ リョウ) 大河原 量 (平成13年9月)		
学長	(セグチ カズヨシ) 瀬口 和義 (平成30年4月)		
学部長	(オカザキ シゲユキ) 岡崎 甚幸 (令和2年4月)		
学科長	(ヤナギサワ カズヒコ) 柳沢 和彦 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。  
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
建築学部 建築学科  学士(建築学)	工学関係	4 年	45 人	年次 人	180 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	45人 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	45人 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	45人 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	45人 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	1.16倍	一倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	786 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	581 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	563 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	563 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	678 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	515 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	490 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	490 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	211 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	156 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	168 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	168 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	56 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	50 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	52 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	52 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	—		—		1.24		1.11		1.15		1.15				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					56	—	50	—	52	—			
					[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]			
					( — )	( — )	( — )	( — )	( — )	( — )			
2年次									56	—	50	—	
									[ — ]	[ — ]	[ — ]	[ — ]	
									( — )	( — )	( — )	( — )	
3年次											55		
											[ — ]	[ — ]	
											( — )	( — )	
4年次													
計					—	—	56	106	157				
					[ — ]	[ — ]	[ — ]	[—]	[—]				
					( — )	( — )	( — )	(—)	(—)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	56 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	106 人	1 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1 人	人	進路変更(1人)
			令和3年度	人	人	
令和4年度	157 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		1 人		1 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{56} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{106} = \boxed{0.94} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{157} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<建築学部 建築学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2							1
	平安朝文学の世界	1前		2							1
	芭蕉をめぐる人々	1前		2							1
	雨月物語に込められた情念	1前		2							1
	芭蕉と旅	1後		2							1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後		2							1
	日本史の中の女性たち	1前・後		2							1
	日本の画像文化論	1前・後		2							1
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2							1
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2							1
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1							1
	音楽の科学	1前・後		2							1
	先端芸術表現	1前・後		1							1
	自己発見アート	1前・後		1							1
	未来造形	1前・後		1							1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後		1							1
	ミュージカルの実践	1前・後		1							1
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2							1
	日本の文化Ⅰ	1前		2							1
	日本の文化Ⅱ	1後		2							1
	遊びの人類学	1後		2							1
	SNSから日本語を見る	1前・後		2							1
	心理学入門	1後		2							1
	人間関係の心理学	1前・後		2							1
	心理学実践演習	1前		2							1
	差別と暴力のない世界をめざして	1後		2							1
	カウンセリングの実際	1前・後		2							1
	カウンセリングスキル	1前・後		2							1
	実践カウンセリング	1前・後		2							1
	生涯福祉論	1前・後		2							1
	社会福祉とボランティア	1前・後		2							1
	福祉レクリエーションの実際	1後		2							1
	子育てと家族関係	1前		2							1
	「ふつう」を考える社会学	1前・後		2							1
	子育てと母性の気づき	1前		2							1
	現代社会と憲法	1前・後		2							1
	外国から見た日本社会のしくみ	1後		2							1
	都市形成のあゆみと都市生活	1後		2							1
	消費者生活論	1前		2							1
	日本経済のしくみ	1前		2							1
	英語で学ぶやさしい経済学	1前		2							1
	英語で学ぶお金の知識	1後		2							1
	我々のくらしと日本の産業	1前・後		2							1
	環境心理学入門	1前・後		2							1
	教養としての法律	1前		2							1
暮らしと法律	1後		2							1	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2							1
	平安朝文学の世界	1前		2							1
	芭蕉をめぐる人々	1前		2							1
	雨月物語に込められた情念	1前		2							1
	芭蕉と旅	1後		2							1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後		2							1
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2							1
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2							1
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1							1
	音楽の科学	1前・後		2							1
	フランスの音楽と芸術文化	1前・後		2							1
	ヨーロッパの名歌歌唱法	1前・後		1							2
	先端芸術表現	1前・後		1							1
	自己発見アート	1前・後		1							1
	未来造形	1前・後		1							1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後		1							1
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2							1
	日本の文化Ⅰ	1前		2							1
	日本の文化Ⅱ	1後		2							1
	遊びの人類学	1後		2							1
	SNSから日本語を見る	1前・後		2							1
	心理学入門	1前・後		2							1
	人間関係の心理学	1前・後		2							1
	生活の中の心理学	1後		2							1
	日本近代文学の魅力Ⅰ	1前		2							1
	日本近代文学の魅力Ⅱ	1後		2							1
	日本語の世界	1前・後		2							1
	英語圏の文学・文化	1前・後		2							1
	日本語と英語の比較	1前・後		2							1
	英語を学問するー理論と実践	1前・後		2							1
	建築文化論	1後		2							1
	建築と歴史	1前		2							1
	差別と暴力のない世界をめざして	1後		2							1
	カウンセリングの実際	1前		2							1
	実践カウンセリング	1後		2							1
	生涯福祉論	1前・後		2							1
	社会福祉とボランティア	1前・後		2							1
	福祉レクリエーションの実際	1後		2							1
	子育てと家族関係	1前		2							1
	「ふつう」を考える社会学	1前・後		2							1
	子育てと母性の気づき	1前		2							1
	現代社会と憲法	1前・後		2							1
	外国から見た日本社会のしくみ	1後		2							1
	消費者生活論	1前		2							1
	日本経済のしくみ	1前		2							1
英語で学ぶやさしい経済学	1前		2							1	
英語で学ぶお金の知識	1後		2							1	
我々のくらしと日本の産業	1前・後		2							1	
まちづくりと地方自治の役割	1前・後		2							1	
環境心理学入門	1前・後		2							1	
教養としての法律	1前		2							1	
暮らしと法律	1後		2							1	
現代の教育・保育事情	1前・後		2							3	
建築と社会	1前		2					1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	生命科学入門	1前・後		2							1
	環境問題の歴史	1前		2							1
	科学技術の歩み	1後		2							1
	生命科学の基礎	1前		2							1
	生活の中の物理学	1後		2							1
	最先端物理学が描く宇宙	1後		2							1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後		2							1
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前		2							1
	色彩情報	1前・後		2							1
	科学から考える衣服と生活	1後		2							1
	文化を創造する数学	1前		2							1
	科学への入門	1前・後		2							1
	韓国文化の理解	1前・後		2							1
	中国文化論	1前・後		2							1
	World English I	1前		2							1
	World English II	1後		2							1
	世界の中の日本人	1前		2							1
	国際協力入門	1前		2							1
	大学生活入門	1前・後		2							1
	Japanese Culture Influence I	1前		2							1
	Japanese Culture Influence II	1後		2							1
	モラルジレンマから考える私	1前		2							1
	女性のためのマーケティング	1前・後		2							1
	アジアのなかのジェンダー	1前・後		2							1
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後		2							1
	女性と教育	1前・後		2							1
	メディアに見るジェンダー	1前・後		2							1
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2							1
	女性と家族のゆくえ	1前・後		2							1
	文章表現の基礎	1前・後		2							1
	プレゼンテーションの基礎	1前・後		2							1
	日本語表現の基礎	1前・後		2							1
	自己アピールトレーニング	1前・後		2							1
	就活リテラシー	1前・後		2							1
	女性のためのライフプランニング	1前・後		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	生命科学入門	1前		2							1
	環境問題の歴史	1前		2							1
	科学技術の歩み	1後		2							1
	生命科学の基礎	1前		2							1
	生活の中の物理学	1後		2							1
	最先端物理学が描く宇宙	1後		2							1
	現代世界の教育	1前・後		2							1
	情報化と教育	1前・後		2							1
	女性と子どものヘルスケア	1後		2							2
	メディア技術と文字デザイン	1前		2							1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後		2							1
	色彩情報	1後		2							1
	科学から考える衣服と生活	1前		2							1
	科学への入門	1前・後		2							1
	数や図形の科学	1前・後		2							1
	健康を支える仕組み	1前・後		2							2
	生活習慣と脳と心と身体の科学	1前・後		2							1
	薬の歴史と未来	1後		2							2
	薬とからだ	1後		2							3
	健康生活とライフステージ	1前		2							3
	医薬品概論	1前		2							2
	はたらく細胞とくすり	1後		2							1
	身近にある科学	1後		2							1
	発達障害の理解とリエゾン支援	1前・後		2							1
	韓流ブーム	1前・後		2							1
	韓国文化の理解	1前・後		2							1
	中国文化論	1前・後		2							1
	World English I	1前		2							1
	World English II	1後		2							1
	世界の中の日本人	1前		2							1
	国際協力入門	1前		2							1
	音楽から見る人と世界	1後		2							1
	大学生活入門	1前・後		2							1
	テレビ映像と現代社会	1前・後		2							1
	Current Affairs in Japan I	1前		2							1
Current Affairs in Japan II	1後		2							1	
モラルジレンマから考える私	1前		2							1	
女性のためのマーケティング	1前・後		2							1	
現代社会と保健医療	1後		2							1	
心理学トピックス	1後		2							1	
社会福祉の学び	1後		2							1	
スポーツツーリズムと地域創生	1後		2							1	
ジェンダーとアイデンティティ	1前・後		2							1	
女性と教育	1前・後		2							1	
メディアに見るジェンダー	1前・後		2							1	
女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2							1	
ジェンダーと社会	1前・後		2							1	
女性が輝く社会づくり	1前・後		2							1	
セクシュアリティ入門 I	1前・後		2							1	
セクシュアリティ入門 II	1前・後		2							1	
文章表現の基礎	1前・後		2							1	
プレゼンテーションの基礎	1前・後		2							1	
自己アピールトレーニング	1前・後		2							1	
キャリアビジョンと人物評価	1前・後		2							1	
女性のためのライフプランニング	1前・後		2							1	
キャリアと学び	1前		2							1	
卒業生が語る仕事と人生	1後		2							1	
仕事力を考える	1前・後		2							1	
公務員の魅力	1前		2							1	
ヒューマンスキル入門	1前		2							1	
パーソナルコミュニケーション	1後		2							1	
チームで学ぶ課題解決	1前・後		2							1	







科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	建築構造力学Ⅱ	2後	2			1						
	地盤・振動論	4前		2		1	1					1
	建築一般構造Ⅰ	1前	2			1						1
	建築一般構造Ⅱ	3前	2			1						1
	建築各種構造	3後		2			1					
	建築材料	3前	2				1					
	建築構造材料実験	3前	2			1	1					2
	建築生産	3後	2									1
	建築施工	4前	2									1
	建築法規Ⅰ	1後	2									1
	建築法規Ⅱ	3前	2									1
	都市計画・デザイン論	2後	2									4
	造園学	3後		2								1
	測量実習	4前	2									1
	建築フィールドワークⅠA	1前		1		5	7	1	1			1
	建築フィールドワークⅠB	1後		1		5	7	1	1			1
	建築フィールドワークⅡA	2前		1		6	7	1	1			
	建築フィールドワークⅡB	2後		1		6	7	1	1			
	建築フィールドワークⅢA	3前		1		6	7	1	1			
	建築フィールドワークⅢB	3後		1		6	7	1	1			
	建築フィールドワークⅣ	4前		1		6	7	1	1			
	海外研修	2後		2			1					
	小計(49科目)		-	100	19	0	6	7	1	1	0	41
合計(210科目)		-	114	283	0	6	7	1	1	0	148	
卒業要件及び履修方法												
4年以上在学し、共通教育科目6単位以上(『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目からそれぞれ2単位以上)、基礎教育科目の中から14単位、専門教育科目の中から108単位以上、合計128単位以上を修得すること。なお、基礎教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	建築構造力学Ⅱ	2後	2			1						
	地盤・振動論	4前		2		2						1
	建築一般構造Ⅰ	1前	2					1				1
	建築一般構造Ⅱ	3前	2					1				1
	建築各種構造	3後		2			1					
	建築材料	3前	2				1					
	建築構造材料実験	3前	2			1	1					2
	建築生産	3後	2									1
	建築施工	4前	2									1
	建築法規Ⅰ	1後	2									1
	建築法規Ⅱ	3前	2									1
	都市計画・デザイン論	2後	2									4
	造園学	3後		2								1
	測量実習	4前	2									1
	建築フィールドワークⅠA	1前		1			6	6	1	1		1
	建築フィールドワークⅠB	1後		1			6	6	1	1		1
	建築フィールドワークⅡA	2前		1			7	6	1	1		
	建築フィールドワークⅡB	2後		1			7	6	1	1		
	建築フィールドワークⅢA	3前		1			7	6	1	1		
	建築フィールドワークⅢB	3後		1			7	6	1	1		
	建築フィールドワークⅣ	4前		1			7	6	1	1		
	海外研修	2後		2				1				
	小計(49科目)		-	100	19	0	7	6	1	1	0	37
合計(262科目)		-	119	382	0	7	6	1	1	0	171	
卒業要件及び履修方法												
4年以上在学し、共通教育科目6単位以上(『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目からそれぞれ2単位以上)、基礎教育科目の中から14単位、専門教育科目の中から108単位以上、合計128単位以上を修得すること。なお、基礎教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))												

【令和2年度】

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2							1
	平安朝文学の世界	1前		2							1
	芭蕉をめぐる人々	1前		2							1
	雨月物語に込められた情念	1前		2							1
	芭蕉と旅	1後		2							1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後		2							1
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2							1
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2							1
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1							1
	音楽の科学	1前・後		2							1
	先端芸術表現	1前・後		1							1
	自己発見アート	1前・後		1							1
	未来造形	1前・後		1							1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後		1							1
	ミュージカルの実践	1前・後		1							1
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2							1
	日本の文化Ⅰ	1前		2							1
	日本の文化Ⅱ	1後		2							1
	遊びの人類学	1後		2							1
	SNSから日本語を見る	1前・後		2							1
	江戸時代と現代の道徳の比較	1前		2							1
	鎌倉時代の文学への誘い	1前・後		2							1
	日本近代文学の魅力Ⅰ	1前		2							1
	日本近代文学の魅力Ⅱ	1後		2							1
	「昔話」と「昔語り」	1後		2							1
	平安時代の文学への誘い	1前・後		2							1
	日本語と英語の比較	1前・後		2							1
	合唱表現Ⅰ	1前		1							1
	合唱表現Ⅱ	1後		1							1
	生活の中の美的感動表現	1前・後		1							1
	感性の書	1前・後		2							1
	書の世界	1前・後		2							1
	口承文芸入門	1前		2							1
	生と死の心理学	1後		2							1
	差別と暴力のない世界をめざして	1後		2							1
	カウンセリングの実際	1前・後		2							1
	カウンセリングスキル	1前・後		2							1
	実践カウンセリング	1前・後		2							1
	生涯福祉論	1前・後		2							1
	社会福祉とボランティア	1前・後		2							1
	福祉レクリエーションの実際	1後		2							1
	子育てと家族関係	1前		2							1
	「ふつう」を考える社会学	1前・後		2							1
	子育てと母性の気づき	1前		2							1
	現代社会と憲法	1前・後		2							1
外国から見た日本社会のしくみ	1後		2							1	
都市形成のあゆみと都市生活	1後		2							1	
消費者生活論	1前		2							1	
日本経済のしくみ	1前		2							1	
英語で学ぶお金の知識	1後		2							1	
我々のくらしと日本の産業	1前・後		2							1	
環境心理学入門	1前・後		2							1	
教養としての法律	1前		2							1	
暮らしと法律	1後		2							1	
生命科学入門	1前・後		2							1	
環境問題の歴史	1前		2							1	
科学技術の歩み	1後		2							1	
生命科学の基礎	1前		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2							1
	平安朝文学の世界	1前		2							1
	芭蕉をめぐる人々	1前		2							1
	雨月物語に込められた情念	1前		2							1
	芭蕉と旅	1後		2							1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後		2							1
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2							1
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2							1
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1							1
	音楽の科学	1前・後		2							1
	フランスの音楽と芸術文化	1前・後		2							1
	先端芸術表現	1前・後		1							1
	自己発見アート	1前・後		1							1
	未来造形	1前・後		1							1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後		1							1
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2							1
	日本の文化Ⅰ	1前		2							1
	日本の文化Ⅱ	1後		2							1
	遊びの人類学	1後		2							1
	SNSから日本語を見る	1前・後		2							1
	心理学入門	1後		2							1
	人間関係の心理学	1前・後		2							1
	心理学実践演習	1前		2							1
	鎌倉時代の文学への誘い	1前・後		2							1
	日本近代文学の魅力Ⅰ	1前		2							1
	日本近代文学の魅力Ⅱ	1後		2							1
	平安時代の文学への誘い	1前・後		2							1
	合唱表現Ⅰ	1前		1							1
	合唱表現Ⅱ	1後		1							1
	書の世界	1前・後		2							1
	生と死の心理学	1後		2							1
	建築文化論	1後		2							1
	差別と暴力のない世界をめざして	1後		2							1
	カウンセリングの実際	1前・後		2							1
	カウンセリングスキル	1前・後		2							1
	実践カウンセリング	1前・後		2							1
	生涯福祉論	1前・後		2							1
	社会福祉とボランティア	1前・後		2							1
	福祉レクリエーションの実際	1後		2							1
	子育てと家族関係	1前		2							1
	「ふつう」を考える社会学	1前・後		2							1
	子育てと母性の気づき	1前		2							1
	現代社会と憲法	1前・後		2							1
	外国から見た日本社会のしくみ	1後		2							1
	消費者生活論	1前		2							1
日本経済のしくみ	1前		2							1	
英語で学ぶお金の知識	1後		2							1	
我々のくらしと日本の産業	1前・後		2							1	
甲子園と阪神電鉄	1前		2							1	
建築と人間行動	1前		2							1	
まちづくりと地方自治の役割	1前・後		2							1	
環境心理学入門	1前・後		2							1	
教養としての法律	1前		2							1	
暮らしと法律	1後		2							1	
生命科学入門	1前・後		2							1	
環境問題の歴史	1前		2							1	
科学技術の歩み	1後		2							1	
生命科学の基礎	1前		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	生活の中の物理学	1後		2							1
	最先端物理学が描く宇宙	1後		2							1
	世界の大学事情	1前		2							1
	現代世界の教育	1前・後		2							1
	情報化と教育	1前・後		2							1
	メディアに映る女性	1前・後		2							1
	災害と子ども・家族	1前		2							1
	生きがい探しのボランティア論	1前・後		2							1
	聴覚障害者の理解と手話	1前・後		2							1
	女性と子どものヘルスケア	1後		2							2
	経営学入門	1前・後		2							1
	情報と社会	1前・後		2							1
	メディア技術と文字デザイン	1前		2							1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後		2							1
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前		2							1
	色彩情報	1前・後		2							1
	文化を創造する数学	1前		2							1
	科学への入門	1前・後		2							1
	数的能力の発達過程	1前・後		2							1
	数や図形の科学	1前・後		2							1
	生態学的視覚論	1前		2							1
	視覚認知	1後		2							1
	身近な動植物の起源と歴史	1前・後		2							1
	生命の恒常性と情報伝達	1前・後		2							1
	健康を支える仕組み	1前・後		2							2
	生活習慣と脳と心と身体の科学	1前・後		2							1
	韓国文化の理解	1前・後		2							1
	中国文化論	1前・後		2							1
	World English I	1前		2							1
	World English II	1後		2							1
	世界の中の日本人	1前		2							1
	漢字がつなぐ東アジア	1前・後		2							1
	大学生活入門	1前・後		2							1
	Japanese Culture Influence I	1前		2							1
	テレビ映像と現代社会	1前・後		2							1
	命を守る生体の機構と科学	1前・後		2							1
	女性のためのマーケティング	1前・後		2							1
	アジアのなかのジェンダー	1前・後		2							1
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後		2							1
	女性と教育	1前・後		2							1
	メディアに見るジェンダー	1前・後		2							1
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2							1
	女性と家族のゆくえ	1前・後		2							1
	セクシュアリティ入門	1前・後		2							1
	文章表現の基礎	1前・後		2							1
	プレゼンテーションの基礎	1前・後		2							1
	日本語表現の基礎	1前・後		2							1
自己アピールトレーニング	1前・後		2							1	
キャリアビジョンと人物評価	1前・後		2							1	
女性のためのライフプランニング	1前・後		2							1	
キャリアデザインとライフプラン	1前・後		2							1	
ヒューマンスキル入門	1前		2							1	
パーソナルコミュニケーション	1後		2							1	
チームで学ぶ課題解決	1前・後		2							1	
企業での女性活躍と働き方改革	1前・後		2							1	
企業で役に立つ情報収集と企画力	1前		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	生活の中の物理学	1後		2							1
	最先端物理学が描く宇宙	1後		2							1
	現代世界の教育	1前・後		2							1
	情報化と教育	1前・後		2							1
	メディアに映る女性	1前・後		2							1
	生きがい探しのボランティア論	1前・後		2							1
	女性と子どものヘルスケア	1後		2							2
	経営学入門	1前・後		2							1
	メディア技術と文字デザイン	1前		2							1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後		2							1
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前		2							1
	文化を創造する数学	1前		2							1
	科学への入門	1前・後		2							1
	数や図形の科学	1前・後		2							1
	身近な動植物の起源と歴史	1前・後		2							1
	生命の恒常性と情報伝達	1前・後		2							1
	健康を支える仕組み	1前・後		2							2
	生活習慣と脳と心と身体の科学	1前・後		2							1
	薬の歴史と未来	1後		2							2
	薬とからだ	1後		2							2
	健康生活とライフステージ	1前		2							3
	医薬品概論	1前		2							2
	韓流ブーム	1前・後		2							1
	韓国文化の理解	1前・後		2							1
	中国文化論	1前・後		2							1
	World English I	1前		2							1
	World English II	1後		2							1
	世界の中の日本人	1前		2							1
	国際協力入門	1前		2							1
	テレビ映像と現代社会	1前・後		2							1
	命を守る生体の機構と科学	1前・後		2							1
	モラルジレンマから考える私	1前		2							1
	女性のためのマーケティング	1前・後		2							1
	アジアのなかのジェンダー	1前・後		2							1
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後		2							1
	女性と教育	1前・後		2							1
	メディアに見るジェンダー	1前・後		2							1
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2							1
	ジェンダーと社会	1後		2							1
	女性が輝く社会づくり	1前・後		2							1
	セクシュアリティ入門	1前・後		2							1
	文章表現の基礎	1前・後		2							1
	プレゼンテーションの基礎	1前・後		2							1
	自己アピールトレーニング	1前・後		2							1
	キャリアビジョンと人物評価	1前・後		2							1
	女性のためのライフプランニング	1前・後		2							1
	キャリアと学び	1前		2							1
卒業生が語る仕事と人生	1後		2							1	
仕事力を考える	1前・後		2							1	
公務員の魅力	1前		2							1	
ヒューマンスキル入門	1前		2							1	
パーソナルコミュニケーション	1後		2							1	
チームで学ぶ課題解決	1前・後		2							1	
企業での女性活躍と働き方改革	1前・後		2							1	
企業で役に立つ情報収集と企画力	1前		2							1	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通教育科目	スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(バレーボール)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(バドミントン)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ジャズダンス)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ダンスエアロ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(遊びと障害)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ヨガ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ビーチバレー)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(水泳)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(サッカー)	1前・後		1							1
	からだど気づきと姿勢法	1後		1							1
スポーツ実技(エアリアルワーク)	1前・後		1							1	
学び発見ゼミ	1前・後		2			1				41	
小計(196科目)		-	0	341	0	0	1	0	0	0	144
基礎教育科目	初期演習 I	1前	1				1				
	初期演習 II (建築入門)	1後	1				1				
	建築英語 I	1前	2								2
	建築英語 II	1後	2								2
	建築英語 III	2前	2								2
	建築英語 IV	2後	2								2
	建築数学	1前	2				1				
	建築物理	1後	2					2			
小計(8科目)		-	14	0	0	1	3	0	0	0	4
専門教育科目	空間表現演習 I	1前	5				1	3			9
	空間表現演習 II	1後	5				2	3			5
	建築設計演習 I	2前	5				1	3			5
	建築設計演習 II	2後	5				2	3			3
	建築設計演習 III	3前	6				1	4		1	4
	建築設計演習 IV	3後	6				3	2			2
	建築設計演習 V	4前	6				2	2			4
	図学・情報基礎演習 I	1前	2				1	3		1	1
	図学・情報基礎演習 II	1後	2				2	2		1	1
	CAD・CG応用演習 I	2前	2					2		1	
	CAD・CG応用演習 II	2後	2				1	1			
	卒業研究	4後	6				6	7	1	1	
	現代建築論	1前	2				1	1			
	建築設計計画 I	2前	2				2				1
	建築設計計画 II	2後	2				2	1			1
	建築設計計画 III	3前	2				3	1			
	建築設計計画 IV	3後	2				1				2
	日本建築史	1前	2					1			
	世界建築史	1後	2					1			1
	近代建築史	2前	2								1
	建築環境工学 I	2前	2					1			1
	建築環境工学 II	2後	2					1			1
	建築環境工学実験	2後	2					1			3
	建築環境工学 III	3後		2				1			1
	建築設備 I	3前	2								2
	建築設備 II	4前		2							2
	建築構造力学 I	2前	2					1			
	建築構造力学 II	2後	2					1			
	地盤・振動論	4前		2			1	1			1
	建築一般構造 I	1前	2					1			1
	建築一般構造 II	3前	2				1				1
	建築各種構造	3後		2				1			
	建築材料	3前	2					1			
	建築構造材料実験	3前	2				1	1			2
建築生産	3後	2								1	
建築施工	4前	2								1	
建築法規 I	1後	2								1	
建築法規 II	3前	2								1	
都市計画・デザイン論	2後	2								4	
造園学	3後		2							1	
測量実習	4前	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
共通教育科目	スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(バレーボール)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(バドミントン)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ジャズダンス)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ダンスエアロ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(遊びと障害)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ヨガ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ビーチバレー)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(水泳)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(サッカー)	1前・後		1							1
	からだど気づきと姿勢法	1後		1							1
スポーツ実技(ハンジーエクササイズ)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(エアリアルワーク)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(スタイルジャズ)	1前・後		1							1	
学び発見ゼミ	1前・後		2				1			39	
小計(198科目)		-	0	346	0	1	1	0	0	0	140
基礎教育科目	初期演習 I	1前	1					1			
	初期演習 II (建築入門)	1後	1					1			
	建築英語 I	1前	2								2
	建築英語 II	1後	2								2
	建築英語 III	2前	2								2
	建築英語 IV	2後	2								2
	建築数学	1前	2					1			
	建築物理	1後	2					1	1		
小計(8科目)		-	14	0	0	1	3	0	0	0	4
専門教育科目	空間表現演習 I	1前	5				1	3			9
	空間表現演習 II	1後	5					3	2		5
	建築設計演習 I	2前	5					2	2		5
	建築設計演習 II	2後	5					3	3		3
	建築設計演習 III	3前	6					1	4		4
	建築設計演習 IV	3後	6					3	2		2
	建築設計演習 V	4前	6					2	2		4
	図学・情報基礎演習 I	1前	2					1	3		1
	図学・情報基礎演習 II	1後	2					2	2		1
	CAD・CG応用演習 I	2前	2						2		1
	CAD・CG応用演習 II	2後	2					1	1		
	卒業研究	4後	6					7	6	1	1
	現代建築論	1前	2					1	1		
	建築設計計画 I	2前	2					2			1
	建築設計計画 II	2後	2					2	1		1
	建築設計計画 III	3前	2					3	1		
	建築設計計画 IV	3後	2					1			2
	日本建築史	1前	2						1		
	世界建築史	1後	2						1		1
	近代建築史	2前	2								1
	建築環境工学 I	2前	2						1		1
	建築環境工学 II	2後	2						1		1
	建築環境工学実験	2後	2						1		3
	建築環境工学 III	3後		2					1		1
	建築設備 I	3前	2								2
	建築設備 II	4前		2							2
	建築構造力学 I	2前	2						1		
	建築構造力学 II	2後	2						1		
	地盤・振動論	4前		2				1	2		1
	建築一般構造 I	1前	2							1	1
	建築一般構造 II	3前	2						1		1
	建築各種構造	3後		2					1		
	建築材料	3前	2						1		
	建築構造材料実験	3前	2					1	2		2
建築生産	3後	2								1	
建築施工	4前	2								1	
建築法規 I	1後	2								1	
建築法規 II	3前	2								1	
都市計画・デザイン論	2後	2								4	
造園学	3後		2							1	
測量実習	4前	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	建築フィールドワークⅠA	1前		1		5	7	1	1		1
	建築フィールドワークⅠB	1後		1		5	7	1	1		1
	建築フィールドワークⅡA	2前		1		6	7	1	1		
	建築フィールドワークⅡB	2後		1		6	7	1	1		
	建築フィールドワークⅢA	3前		1		6	7	1	1		
	建築フィールドワークⅢB	3後		1		6	7	1	1		
	建築フィールドワークⅣ	4前		1		6	7	1	1		
	海外研修	2後		2			1				
	小計(49科目)	-	100	19	0	6	7	1	1	0	41
	合計(253科目)	-	119	360	0	6	7	1	1	0	187
卒業要件及び履修方法											
4年以上在学し、共通教育科目6単位以上(『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目」からそれぞれ2単位以上)、基礎教育科目の中から14単位、専門教育科目の中から108単位以上、合計128単位以上を修得すること。なお、基礎教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	建築フィールドワークⅠA	1前		1		6	6	1	1		1
	建築フィールドワークⅠB	1後		1		6	6	1	1		1
	建築フィールドワークⅡA	2前		1		7	6	1	1		
	建築フィールドワークⅡB	2後		1		7	6	1	1		
	建築フィールドワークⅢA	3前		1		7	6	1	1		
	建築フィールドワークⅢB	3後		1		7	6	1	1		
	建築フィールドワークⅣ	4前		1		7	6	1	1		
	海外研修	2後		2			1				
	小計(49科目)	-	100	19	0	7	6	1	1	0	40
	合計(255科目)	-	119	360	0	7	6	1	1	0	184
卒業要件及び履修方法											
4年以上在学し、共通教育科目6単位以上(『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目」からそれぞれ2単位以上)、基礎教育科目の中から14単位、専門教育科目の中から108単位以上、合計128単位以上を修得すること。なお、基礎教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。



(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「日本史の中の女性たち」を廃止。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「日本の画像文化論」を廃止。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「心理学入門」を廃止。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「人間関係の心理学」を廃止。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「心理学実践演習」を廃止。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「江戸時代と現代の道徳の比較」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「鎌倉時代の文学への誘い」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「日本近代文学の魅力Ⅰ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「日本近代文学の魅力Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に『「昔話」と「昔語り」』を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「平安時代の文学への誘い」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「日本語と英語の比較」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「合唱表現Ⅰ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「合唱表現Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「生活の中の美的感動表現」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「感性の書」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「書の世界」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「口承文芸入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「生と死の心理学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「英語で学ぶやさしい経済学」を廃止。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「世界の大学事情」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「現代世界の教育」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「情報化と教育」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「メディアに映る女性」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「災害と子ども・家族」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「生きがい探しのボランティア論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「聴覚障害者の理解と手話」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「女性と子どものヘルスケア」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「経営学入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「情報と社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「メディア技術と文字デザイン」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「科学から考える衣服と生活」を廃止。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「数的能力の発達過程」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「数や図形の科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「生態学的視覚論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「視覚認知」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「身近な動植物の起源と歴史」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「生命の恒常性と情報伝達」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「健康を支える仕組み」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「生活習慣と脳と心と身体の科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「科学から考える衣服と生活」を廃止。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「漢字がつなぐ東アジア」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「テレビ映像と現代社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「命を守る生体の機構と科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「Japanese Culture Influence Ⅱ」を廃止。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「モラルジレンマから考える私」を廃止。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「セクシュアリティ入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 共通教育科目「就活リテラシー」の科目名を見直し、「キャリアビジョンと人物評価」に名称変更。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「キャリアデザインとライフプラン」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「ヒューマンスキル入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「パーソナルコミュニケーション」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「チームで学ぶ課題解決」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「企業での女性活躍と働き方改革」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「企業で役に立つ情報収集と企画力」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「グローバル化と企業の海外展開」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 開講クラス数変更のため共通教育科目「英語コミュニケーションⅢ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・ 開講クラス数変更のため共通教育科目「英語コミュニケーションⅣ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・ 開講クラス数変更のため共通教育科目「英語リーディングⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「TOEIC(初級)」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「PresentationⅠ」「PresentationⅡ」のうち、「PresentationⅡ」を廃止し、「PresentationⅠ」の科目名称を「Presentation」に、配当年次を「3後」にそれぞれ変更。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「Writing for Daily Use」を廃止。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「フランス語ⅠA」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「フランス語ⅡA」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 共通教育科目「イタリア語Ⅰ」「イタリア語Ⅱ」の科目名を見直し、「イタリア語ⅠA」「イタリア語ⅠB」にそれぞれ名称変更。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「WritingⅠ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「WritingⅡ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「Webデザイン基礎」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「Scratchによるプログラミング」を廃止。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「障害者とスポーツ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「知っておきたい救急処置」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「女性の健康と運動」を追加し、「兼任教員1」を配置。

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（水泳）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（サッカー）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（エアリアルワーク）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「からだと気づきと姿勢法」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「マッサージ実習」を廃止。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目「学び発見ゼミ」の兼任・兼任教員の配置を「29」から「41（兼任33・兼任8）」に変更。

### 【令和3年度】

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランスの音楽と芸術文化」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「ミュージカルの実践」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築文化論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「都市形成のあゆみと都市生活」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「甲子園と阪神電鉄」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築と人間行動」を追加し、「専任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「まちづくりと地方自治の役割」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「色彩情報」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「薬の歴史と未来」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「薬とからだ」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「健康生活とライフステージ」を追加し、「兼任教員3」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「医薬品概論」を追加し、「兼任・兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「韓流ブーム」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「大学生生活入門」を廃止。
- ・共通教育科目構成見直しのため「Japanese Culture Influence I」を廃止。
- ・共通教育科目構成見直しのため「女性と家族のゆくえ」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ジェンダーと社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「女性が輝く社会づくり」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「日本語表現の基礎」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「キャリアと学び」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「卒業生が語る仕事と人生」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「仕事力を考える」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「公務員の魅力」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数変更のため、「ドイツ語Ⅰ」の教員配置を「兼任教員3」から「兼任教員2」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため「データサイエンス入門」の科目名を「データサイエンスの基礎とExcel」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため「データサイエンス演習」の科目名を「データサイエンスの応用とExcel」に変更。
- ・共通教育科目構成見直しのため「ダンス・ムーブメントセラピー」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生涯スポーツ論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツと現代社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「スポーツ実技（ビーチバレー）」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（バンジーエクササイズ）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（スタイルジャズ）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目「学び発見ゼミ」の兼任・兼任教員の配置を「29」から「39（兼任32・兼任7）」に変更。
- ・指導体制強化のため、「建築設計演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授2」から「准教授1」にそれぞれ変更。
- ・指導体制強化のため、「建築設計演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
- ・担当専任教員の職位変更（准教授から教授への昇格）に伴い以下の科目の専任教員等の配置を変更。  
「建築物理」「空間表現演習Ⅱ」「卒業研究」「建築構造力学Ⅰ」「建築構造力学Ⅱ」「建築各種構造」「建築材料」「地盤・振動論」  
「建築構造材料実験」「建築フィールドワークⅠA」「建築フィールドワークⅠB」「建築フィールドワークⅡA」  
「建築フィールドワークⅡB」「建築フィールドワークⅢA」「建築フィールドワークⅢB」「建築フィールドワークⅣ」

### 【令和4年度】

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ヨーロッパの名歌歌唱法」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「心理学入門」の配当年次を、1年前期・後期に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生活の中の心理学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本語の世界」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「英語圏の文学・文化」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本語と英語の比較」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「英語を学問する－理論と実践」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築と歴史」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「カウンセリングの実際」の配当年次を、1年前期に変更。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「実践カウンセリング」の配当年次を、1年後期に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「現代の教育・保育事情」を追加し、「兼任教員3」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築と社会」を追加し、「専任教授1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「色彩情報」の配当年次を、1年後期に変更。
- ・オムニバス内容の充実のため、共通教育科目に「薬とからだ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「はたらく細胞とくすり」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「身近にある科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「発達障害の理解とリエゾン支援」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「音楽から見る人と世界」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「現代社会と保健医療」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「心理学トピックス」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「社会福祉の学び」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツツーリズムと地域創生」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「セクシュアリティ入門」を「セクシュアリティ入門Ⅰ」と「セクシュアリティ入門Ⅱ」に分割し、それぞれ「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「教員から見た社会人基礎力」を追加し、「兼任教員5」を配置。

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ベンチャービジネス概論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ビジネスプラン構築概論」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「SOAR 人生100年をきり拓く力」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「企業の見方」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「TOEFL演習」の配当年次を、1年前期・後期に変更。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目に「中国語Ⅰ」の教員配置を「兼任教員3」から「兼任教員4」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目に「ハングルⅠ」の教員配置を「兼任教員2」から「兼任教員3」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため、共通教育科目に「手話」の科目名を「聴覚障害者の理解と手話言語」に変更し、「兼任教員2」から「兼任教員1」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ハングル検定演習」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Reading & StructureⅠ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Reading & StructureⅡ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Leadership Development」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「海外演習Ⅰ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「海外演習Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（フットサル）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目「学び発見ゼミ」の科目目的を明確にするため科目名に副題を追加し、「専任准教授1」を配置。
- ・「建築設計演習Ⅲ」の専任教員の配置について「助教1」を「助教0」に変更。
- ・「建築設計計画Ⅳ」の兼任・兼任教員の配置を「2」を「1」に変更。
- ・指導体制強化のため「建築生産」の教員配置を「兼任教員1」から「専任教授1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
44 科目	166 科目	0 科目	210 科目	44 科目 [0]	218 科目 [ 52 ]	0 科目 [ 0 ]	262 科目 [52]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。 (記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	日本史の中の女性たち	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。併設短大にて開講し履修可能。
2	日本の画像文化論	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。併設短大にて開講し履修可能。
3	ミュージカルの実践	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
4	心理学実践演習	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
5	カウンセリングスキル	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
6	都市形成のあゆみと都市生活	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
7	微生物がつくる発酵食品の不思議	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
8	文化を創造する数学	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
9	Japanese Culture Influence I	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
10	Japanese Culture Influence II	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
11	アジアのなかのジェンダー	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
12	女性と家族のゆくえ	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
13	日本語表現の基礎	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
14	Grammar for Communication	1	2前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
15	Reading & Writing	1	2後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
16	Presentation II	1	3後	一般	選択	Presentation I と科目統合しPresentationとして開講。
17	Current Events II	1	4後	一般	選択	Current Events I と科目統合しCurrent Eventsとして開講。
18	Writing for Daily Use	1	3前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
19	データサイエンス演習	2	1後	一般	選択	データサイエンス入門と科目統合し、データサイエンスの基礎とExcelとして開講。
20	ダンス・ムーブメントセラピー	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
21	スポーツ実技 (ジャズダンス)	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
22	スポーツ実技 (遊びと障害)	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
23	スポーツ実技 (ビーチバレー)	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
24	マッサージ実習	1	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【所見】廃止科目はすべて「共通教育科目」の科目である。共通教育科目は全学部 of 学生が自由に選択でき、現代社会で通用する教養を養うことを目的に毎年度開講科目の見直しを行っており、廃止はその結果である。一方、同分野の内容を含む科目を多数新たに開講しており、教育に支障はないと判断している。また、併設短期大学において同内容の科目を開講し、受講を可能とする。</p> <p>【学生への周知方法】 学生向けに共通教育専用サイトを開設し、共通教育の目的、科目構成等について周知を図っている。</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{24}{210} = \boxed{11.42}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考		
(1)	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計			
校地等	校舎敷地		78,305.89 <del>77,280.48</del> 73,384.59 68,039.60 m <sup>2</sup>		146,345.49 <del>145,320.08</del> 141,424.19 140,925.19 m <sup>2</sup>	武庫川女子大学短期大学部（必要面積14,000 m <sup>2</sup> ）と共用 駐輪場用途変更、校舎敷地拡張、実験住宅棟敷地取得（4） 駐輪場取得、西北新校舎敷地取得（3） 加部艇庫竣工に伴う用途変更（2）		
	運動場用地		90,463.09 <del>92,502.75</del> 0 m <sup>2</sup>		90,463.09 <del>92,502.75</del> 0 m <sup>2</sup>	堅忍寮ひろば処分（4） 校舎敷地と別地（徒歩10分）		
	小計		168,768.98 <del>169,783.23</del> 165,887.34 68,039.60 m <sup>2</sup>		236,808.58 <del>237,822.83</del> 233,926.94 233,427.94 m <sup>2</sup>	借用面積：1,129.19m <sup>2</sup> 借用期間：27年8月（令和30年11月まで）		
	その他		8,408.27 <del>9,627.66</del> 8,645.19 m <sup>2</sup>		8,408.27 <del>9,627.66</del> 8,645.19 m <sup>2</sup>	笠屋IH寮取得、堅忍寮処分（4） 甲子園口寮取得（2）		
	合計		177,177.25 <del>179,410.89</del> 175,515.90 68,039.60 m <sup>2</sup>		245,216.85 <del>247,450.49</del> 243,554.60 242,073.13 m <sup>2</sup>			
(2)校舎	専用							
			119,576.65 <del>120,147.32</del> 114,909.84 115,270.75 m <sup>2</sup>		191,606.76 <del>192,279.53</del> 186,636.07 187,281.04 m <sup>2</sup>	武庫川女子大学短期大学部（必要面積10,450 m <sup>2</sup> ）と共用 景観建築スタジオ西館新築、生活環境2号館新棟新築、食物栄養科学館別館新築、同面積差異修正、実験住宅棟取得、訪問看護ST廃止（4）		
			(115,507.65) <del>(116,078.32)</del> (110,840.84) (111,201.75 m <sup>2</sup> )		(184,768.86) <del>(185,441.63)</del> (178,813.17) (179,458.14 m <sup>2</sup> )	景観建築スタジオ東館新築、同面積差異修正、甲子園会館内研究用途変更、西北新校舎取得、マルチイ館内研究用途変更（3） ステーションキャンパス・公江記念館竣工に伴う面積差異修正（2）		
(3)教室等	講義室	156 <del>153</del> 室	212 <del>208</del> 室	455 <del>442</del> 室	12 室 (補助職員 1人)	4 室 (補助職員 3人) 室数変更（4） 大学全体		
	演習室							
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称	建築学部 建築学科				室数		
		15 室						
(5)図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	図書・学術雑誌・電子ジャーナル・視聴覚資料については、学部単位での特定不能なため、大学全体の数  図書、学術雑誌、視聴覚資料の充実による増加（4）
	建築学部	700,104(163,545) <del>688,270-(165,053)</del> (700,104(163,545)) <del>-(688,270-(165,053))</del>	9,552(1956) <del>9,489-(1,925)</del> (9,552(1956)) <del>-(9,489-(1,925))</del>	8,832(7,281) <del>60,886-(1,925)</del> (8,832(7,281)) <del>-(60,886-(55,901))</del>	11,241 <del>14,140</del> (11,241) <del>(14,140)</del>	2,852  (2,817)	0  (0)	
	計	700,104(163,545) <del>688,270-(165,053)</del> (700,104(163,545)) <del>-(688,270-(165,053))</del>	9,552(1956) <del>9,489-(1,925)</del> (9,552(1956)) <del>-(9,489-(1,925))</del>	8,832(7,281) <del>60,886-(55,901)</del> (8,832(7,281)) <del>-(60,886-(55,901))</del>	11,241 <del>14,140</del> (11,241) <del>(14,140)</del>	2,852  (2,817)	0  (0)	
(6)図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数		座席数増（4） 大学全体		
	12,499.61 m <sup>2</sup>	1,740 <del>1,716</del>		868,000				
(7)体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	17,497.24 17,308.50 m <sup>2</sup>	総合スタジアムスタンド、各グラウンド内のトイレ、更衣室、 ステーションキャンパス内トレーニングスタジオ						
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	433千円	433千円	図書購入費	5,240千円	5,240千円	
	共同研究費等	9,100千円	9,100千円	設備購入費	38,200千円	38,200千円	38,200千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,500千円 <del>1,460千円</del>	第2年次 1,640千円 <del>1,540千円</del>	第3年次 1,640千円 <del>1,540千円</del>	第4年次 1,640千円 <del>1,540千円</del>	第5年次 —千円	第6年次 —千円	図書費には、電子ジャーナル、データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。 納付金変更（4）
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	武庫川女子大学					学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
文学部	4	510	3年次67	2,174	—	0.98	0.91	—	昭和33	—	
日本語日本文学科	4	150	3年次25	650	学士 (日本語日本文学)	1.00	0.98	—	昭和33	兵庫県西宮市池開町6番46号	
英語文化学科	4	200	3年次25	850	学士 (英語文化学)	0.93	0.76	—	昭和33	同上	
教育学科	4	—	—	—	学士(教育学)	—	—	—	昭和38	同上	平成31年4月学生募集停止
心理・社会福祉学科	4	160	3年次17	674	学士(心理学)又は (社会福祉学)	1.02	1.04	—	平成12	同上	
教育学部	4	240	3年次25	1,010	—	0.97	1.06	令和元	令和元	—	
教育学科	4	240	3年次25	1,010	学士(教育学)	0.97	1.06	令和元	令和元	兵庫県西宮市池開町6番46号	
健康・スポーツ科学部	4	180	3年次20	760	—	1.05	1.22	—	平成23	—	
健康・スポーツ科学科	4	180	3年次20	760	学士 (健康・スポーツ科学)	1.05	1.22	—	平成23	兵庫県西宮市池開町6番46号	
生活環境学部	4	315	3年次20	1,300	—	1.03	1.12	—	平成6	—	
生活環境学科	4	165	3年次20	700	学士 (生活環境学)	1.05	1.18	—	平成6	兵庫県西宮市池開町6番46号	
食物栄養学科	4	—	—	—	学士 (食物栄養学)	—	—	—	平成6	同上	令和2年4月学生募集停止
情報メディア学科	4	150	—	600	学士 (情報メディア学)	1.04	1.06	—	平成6	同上	
建築学科	4	—	—	—	学士 (建築学)	—	—	—	平成18	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年4月学生募集停止
食物栄養科学部	4	280	3年次15	1,150	—	0.93	1.09	令和2	令和2	—	
食物栄養学科	4	200	3年次10	820	学士 (食物栄養学)	0.97	1.12	令和2	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号	
食創造科学科	4	80	3年次5	330	学士 (食創造科学)	0.85	1.01	令和2	令和2	同上	
建築学部	4	85	—	340	—	1.06	1.08	令和2	令和2	—	
建築学科	4	45	—	180	学士(建築学)	1.16	1.15	令和2	令和2	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	
景観建築学科	4	40	—	160	学士 (景観建築学)	0.95	1.00	令和2	令和2	同上	
音楽学部	4	50	—	200	—	0.83	0.80	—	平成21	—	
演奏学科	4	30	—	120	学士(音楽)	0.60	0.53	—	平成21	兵庫県西宮市池開町6番46号	
応用音楽学科	4	20	—	80	学士(応用音楽)	1.16	1.20	—	平成21	同上	
薬学部(6年制)	6	210	—	1,260	—	0.83	0.65	—	平成18	—	
薬学科	6	210	—	1,260	学士(薬学)	0.83	0.65	—	平成18	兵庫県西宮市 甲子園九番町11番68号	
薬学部(4年制)	4	40	—	160	—	0.91	0.92	—	平成18	—	
健康生命薬科学科	4	40	—	160	学士(薬科学)	0.91	0.92	—	平成18	同上	
看護学部	4	80	—	320	—	1.03	1.26	—	平成27	—	
看護学科	4	80	—	320	学士(看護学)	1.03	1.26	—	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号	
経営学部	4	200	—	800	—	1.02	0.94	令和2	令和2	—	
経営学科	4	200	—	800	学士(経営学)	1.02	0.94	令和2	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号	
大学全体	—	2,190	3年次147	9,474	—	—	—	—	—	—	



大学の名称	武庫川女子大学大学院				学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	2	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度
文学研究科										
日本語日本文学専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(文学)	0.12	0.08	—	昭和46	兵庫県西宮市池開町6番46号
日本語日本文学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(文学)	0.22	0.00	—	平成3	同上
英語英米文学専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(文学)	0.12	0.08	—	昭和46	同上
英語英米文学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(文学)	0.33	0.00	—	平成12	同上
教育学専攻(修士課程)	2	6	—	12	修士(教育学)	0.16	0.16	—	平成17	同上
臨床心理学専攻(修士課程)	2	20	—	40	修士(臨床心理学)	0.80	0.95	—	平成11	同上
臨床教育学研究科										
臨床教育学専攻(修士課程)	2	16	—	32	修士(臨床教育学)	0.52	0.62	—	平成6	同上
臨床教育学専攻(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(臨床教育学)	0.21	0.16	—	平成9	同上
健康・ｽﾎｰﾙｽﾞ科学研究科										
健康・ｽﾎｰﾙｽﾞ科学専攻(修士課程)	2	20	—	40	修士(健康科学)又は(ｽﾎｰﾙｽﾞ科学)	0.27	0.40	—	平成23	同上
生活環境学研究科										
食物栄養学専攻(修士課程)	2	—	—	—	修士(食物栄養学)	—	—	—	昭和41	同上
食物栄養学専攻(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(食物栄養学)	—	—	—	平成2	同上
生活環境学専攻(修士課程)	2	6	—	12	修士(生活環境学)又は(情報ｼﾞｮｲﾝﾄ)	0.00	0.00	—	平成12	同上
生活環境学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(生活環境学)又は(情報ｼﾞｮｲﾝﾄ)	0.00	0.00	—	平成12	同上
食物栄養科学研究科										
食物栄養学専攻(修士課程)	2	8	—	16	修士(食物栄養学)	0.87	0.87	令和4	令和4	同上
食物栄養学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(食物栄養学)	0.50	0.50	令和4	令和4	同上
食創造科学専攻(修士課程)	2	4	—	8	修士(食創造科学)	0.25	0.25	令和4	令和4	同上
食創造科学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(食創造科学)	0.00	0.00	令和4	令和4	同上
建築学研究科										
建築学専攻(修士課程)	2	22	—	44	修士(建築学)	0.97	1.09	令和2	令和2	同上
建築学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(建築学)	0.33	0.50	令和2	令和2	同上
景観建築学専攻(修士課程)	2	6	—	12	修士(景観建築学)	1.83	1.33	令和2	令和2	同上
景観建築学専攻(博士後期課程)	3	1	—	3	博士(景観建築学)	0.00	0.00	令和2	令和2	同上
薬学研究科										
薬学専攻(博士課程)	4	2	—	8	博士(薬学)又は(臨床薬学)	0.12	0.00	—	平成24	兵庫県西宮市甲子園九番町11番68号
薬科学専攻(修士課程)	2	30	—	60	修士(薬科学)	0.18	0.10	—	平成22	同上
薬科学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(薬科学)又は(応用薬科学)	0.83	0.00	—	平成24	同上
看護学研究科										
看護学専攻(修士課程)	2	15	—	30	修士(看護学)	0.79	0.73	—	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号
看護学専攻(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(看護学)	1.48	1.00	—	平成29	同上
大学院全体	—	207	—	446	—	—	—	—	—	

令和4年4月学生募集停止  
令和4年4月学生募集停止

大学の名称	武庫川女子大学短期大学部				学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍			
日本語文化学科	2	100	—	200	短期大学士(日本語文化学)	0.51	0.41	—	昭和26	兵庫県西宮市池開町6番46号
英語キャリア・コミュニケーション学科	2	100	—	200	短期大学士(英語コミュニケーション学)	0.32	0.24	—	昭和25	同上
幼児教育学科	2	150	—	300	短期大学士(幼児教育学)	0.51	0.64	—	昭和26	同上
心理・人間関係学科	2	100	—	200	短期大学士(心理・人間関係学)	0.49	0.43	—	昭和62	同上
健康・スポーツ学科	2	80	—	160	短期大学士(健康・スポーツ学)	0.52	0.57	—	昭和30	同上
食生活学科	2	80	—	160	短期大学士(食生活学)	0.61	0.61	—	昭和26	同上
生活造形学科	2	90	—	180	短期大学士(生活造形学)	0.73	0.73	—	昭和25	同上
短期大学全体	—	700	—	1,400	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5. 教員組織の状況

(掲載省略)

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時  (令和元年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項  届出時の計画では完成年度前に定年年齢（66歳）を超える教授が4人にいたが、うち1人が令和3年度末でやむを得ない事情により退職したため、後任として60歳の教員を採用した。完成年度までに定年退職を迎える専任教員の割合は26.7%から20%まで改善した。また、30歳代、40歳代の教員が過半を占めていることから将来的にも教育・研究の継続性は維持される体制と言える。	履行中  定年規程を適切に運用することとし、教育・研究の継続性をより確実とするため、①若手人材を意識的に採用するべく中期的な人員計画を策定する。②募集は公募形式を中心とし、特に高年齢に偏らないよう年齢構成に留意して募集する。③教員採用において年齢構成のバランスについてこれまで以上に厳格な確認、協議を行う。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<建築学部 建築学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

###### 【武庫川女子大学FD推進委員会】

平成20年1月に学長直属の全学組織として設置。構成員は、全学部学科等から選出された委員（各1人）と教務部長及び学長が委嘱した委員（令和3年度21人、令和4年度21人）。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

###### 【武庫川女子大学FD推進委員会】

令和3年度の委員会の開催は7回（5・6・7・10・11・12・2月）、出席率は78.9%。（7回の平均）。

##### c 委員会の審議事項等

###### 【武庫川女子大学FD推進委員会】

- (1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 教員の研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の教授法及び教授活動の相互研鑽に関する事項
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項
- (5) 各学科の教員へのFD活動の啓発に関する事項
- (6) 教員の教授活動の支援に関する事項
- (7) その他、学長の諮問する事項及び委員会が必要と認めた事項

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

###### 【武庫川女子大学FD推進委員会】

- ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施
- イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施
- ウ. FDニュースの編集・発行
- エ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有

令和2年度から、オンラインにて委員会を開催している。

###### 【建築学部・建築学研究科におけるFD活動】

建築学部・建築学研究科における独自のFD活動として、全ての科目の毎日の授業について授業報告書の提出を義務付け、各教員が他の教員の授業内容を確認、点検できるようにする。

###### 【上記の他、大学として行っているFD/SD活動の内容】

###### オ. 新任教員研修

##### b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む）

###### ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施

- ・教育改革講演会の開催（令和3年8月実施。テーマ：「大学の授業運営における著作権の考え方について」）
- ・FDオンラインカフェの開催（令和4年3月実施。テーマ：「遠隔だからこそ良かった点、難しかった点～ポストコロナに向けた今後の授業の方向性～」）

・学生FD（令和4年2月実施。概要：Google ClassroomとFormsを活用した学生座談会）

・その他、共通教育部や総合情報システム部等他部門との共催企画

###### イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施

- ・前期、後期にそれぞれ期間を設けて授業公開を実施。
- ・日々の教育活動の中で授業改善につながるより良い授業方法の工夫と実践に取り組む教員への奨励制度の企画・運営。

###### ウ. FDニュースの編集・発行

・「FDニュース第20号」を令和3年12月に発行。ホームページでも公開。

###### エ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有

・各学科におけるFDの取組み状況の調査・報告。

###### オ. 新任教員研修

・本学の教育支援システムや、教育方法等の紹介、新任教員の同僚性の構築等を目的としたオンラインと対面のハイブリッド形式での研修を全15回実施。

・令和4年度についても、対面とオンラインのハイブリッド形式による15回のプログラムを計画している。

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- ・平成26年4月、事務局組織に「教育開発支援室」を設置（現在は「教育開発推進室」）し、大学教育改革推進委員会やFD推進委員会の庶務を担う専任職員を配置して全学の教育活動の支援体制を整えている。同室では、学外で開催されるFD関係の研修会や高等教育に関連する研究会などについて、学内システムを利用して教員に案内し、教員の質向上につながる取り組みを行っている。
  - ・従来から実施している授業評価アンケートに加え、令和3年度は学生FDを実施することで多面的な実態を把握し、その情報を共有することにより、授業の質の担保・改善を図った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

例年、以下のa、bの通り実施。

a 実施の有無及び実施時期

- (1) 実施時期 前期（7月）、後期（12月中旬～1月初）
- (2) 調査方法 学内の「授業アンケートシステム」に学生が直接入力

b 教員や学生への公開状況、方法等

前期及び後期とも、授業担当者は授業期間内に、アンケート結果に対して学生に改善点等を含んだフィードバックを行うとともに、その結果はパソコン上でも閲覧可能としている。  
大学院も平成29年度より、原則、全ての研究科において講義科目を対象に実施。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

建築学部建築学科は、既存の生活環境学部建築学科の建築教育を継承し「グローバル社会に貢献できる国際的通用性を備えた建築設計技術者を養成する。そして真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を、UNESCO-UlA建築教育憲章に対応した世界水準の学びを通して培うことを目的とする。」という趣旨・目的の下で設置された。  
まだ卒業生が出ていない段階で、設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価を行う段階にはないが、開設から3年間の平均入学定員超過率は1.16倍と、若干の定員超過傾向にあるものの3年連続で定員を充足し、安定した学生確保を実現している。これは本学が築き上げてきた実績と本学部学科の特色が評価されたものと判断できる。コロナ禍の中であるが、遠隔授業と感染予防に留意したスタジオ型教育を組み合わせながら設置の趣旨・目的達成のため教育効果を高めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和5年3月31日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和5年3月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・本年度（令和4年度）に評価機関（公益財団法人大学設置基準）の評価を受ける。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・ 無 ]

◀ aで「有」の場合 ▶

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） ]

◀ aで公表「無」の場合 ▶

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

学校コード F128310108883

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の設置

注1

**届出**

注2

武庫川女子大学 建築学部

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人武庫川学院

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人室 法人課

職名・氏名

電話番号 0798-45-3512

（夜間） 同上

e-mail hozin@mukogawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)



# 目次

## 建築学部

＜景観建築学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	22
4. 既設大学等の状況	23
5. 教員組織の状況	26
6. 附帯事項等に対する履行状況等	47
7. その他全般的事項	48

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人武庫川学院

## (2) 大学名

武庫川女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒663-8121

兵庫県西宮市戸崎町1-13

(〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオカワラ リョウ) 大河原 量 (平成13年9月)		
学長	(セグチ カズヨシ) 瀬口 和義 (平成30年4月)		
学部長	(オカザキ シゲユキ) 岡崎 甚幸 (令和2年4月)		
学科長	(スギウラ ノリトシ) 杉浦 徳利 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
建築学部 景観建築学科  学士(景観建築学)	工学関係	4 年	40 人	年次 人	160 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	40人 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	40人 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	40人 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	40人 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	0.95倍	一倍	令和3年度の入学者数及び合格者数には追加合格者1名を含む
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	273 (-) [ - ]	— (-) [ - ]	279 (-) [ - ]	— (-) [ - ]	245 (-) [ - ]	— (-) [ - ]	— (-) [ - ]	— (-) [ - ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	219 (-) [ - ]	— (-) [ - ]	230 (-) [ - ]	— (-) [ - ]	191 (-) [ - ]	— (-) [ - ]	— (-) [ - ]	— (-) [ - ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	116 (-) [ - ]	— (-) [ - ]	102 (-) [ - ]	— (-) [ - ]	104 (-) [ - ]	— (-) [ - ]	— (-) [ - ]	— (-) [ - ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	42 (-) [ - ]	— (-) [ - ]	33 (-) [ - ]	— (-) [ - ]	40人 (-) [ - ]	— (-) [ - ]	— (-) [ - ]	— (-) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	—		—		1.05		0.82		1.00		—				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					42	—	33	—	40	—			
					[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ - ]	[ - ]			
					( )	( )	( )	( )	( - )	( - )			
2年次									42	—	33	—	
									[ ]	[ ]	[ - ]	[ - ]	
									( )	( )	( - )	( - )	
3年次											41	—	
											[ - ]	[ - ]	
											( - )	( - )	
4年次													
計					—	—	42	75	114				
					[ ]	[ ]	[ - ]	[—]	[—]				
					( )	( )	( - )	(—)	(—)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	42 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	75 人	1 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1 人	人	進路変更(1人)
			令和3年度	人	人	
令和4年度	114 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{42} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{75} = \boxed{1.33} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{114} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<建築学部 景観建築学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2							1
	平安朝文学の世界	1前		2							1
	芭蕉をめぐる人々	1前		2							1
	雨月物語に込められた情念	1前		2							1
	芭蕉と旅	1後		2							1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後		2							1
	日本史の中の女性たち	1前・後		2							1
	日本の画像文化論	1前・後		2							1
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2							1
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2							1
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1							1
	音楽の科学	1前・後		2							1
	先端芸術表現	1前・後		1							1
	自己発見アート	1前・後		1							1
	未来造形	1前・後		1							1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後		1							1
	ミュージカルの実践	1前・後		1							1
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2							1
	日本の文化Ⅰ	1前		2							1
	日本の文化Ⅱ	1後		2							1
	遊びの人類学	1後		2							1
	SNSから日本語を見る	1前・後		2							1
	心理学入門	1後		2							1
	人間関係の心理学	1前・後		2							1
	心理学実践演習	1前		2							1
	差別と暴力のない世界をめざして	1後		2							1
	カウンセリングの実際	1前・後		2							1
	カウンセリングスキル	1前・後		2							1
	実践カウンセリング	1前・後		2							1
	生涯福祉論	1前・後		2							1
	社会福祉とボランティア	1前・後		2							1
	福祉レクリエーションの実際	1後		2							1
	子育てと家族関係	1前		2							1
	「ふつう」を考える社会学	1前・後		2							1
	子育てと母性の気づき	1前		2							1
	現代社会と憲法	1前・後		2							1
	外国から見た日本社会のしくみ	1後		2							1
	都市形成のあゆみと都市生活	1後		2							1
	消費者生活論	1前		2							1
	日本経済のしくみ	1前		2							1
	英語で学ばせたい経済学	1前		2							1
	英語で学ぶお金の知識	1後		2							1
	我々のくらしと日本の産業	1前・後		2							1
	環境心理学入門	1前・後		2							1
	教養としての法律	1前		2							1
暮らしと法律	1後		2							1	
生命科学入門	1前・後		2							1	
環境問題の歴史	1前		2							1	
科学技術の歩み	1後		2							1	
生命科学の基礎	1前		2							1	
生活の中の物理学	1後		2							1	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2							1
	平安朝文学の世界	1前		2							1
	芭蕉をめぐる人々	1前		2							1
	雨月物語に込められた情念	1前		2							1
	芭蕉と旅	1後		2							1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後		2							1
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2							1
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2							1
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1							1
	音楽の科学	1前・後		2							1
	フランスの音楽と芸術文化	1前・後		2							1
	ヨーロッパの名歌歌唱法	1前・後		1							2
	先端芸術表現	1前・後		1							1
	自己発見アート	1前・後		1							1
	未来造形	1前・後		1							1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後		1							1
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2							1
	日本の文化Ⅰ	1前		2							1
	日本の文化Ⅱ	1後		2							1
	遊びの人類学	1後		2							1
	SNSから日本語を見る	1前・後		2							1
	心理学入門	1前・後		2							1
	人間関係の心理学	1前・後		2							1
	生活の中の心理学	1後		2							1
	日本近代文学の魅力Ⅰ	1前		2							1
	日本近代文学の魅力Ⅱ	1後		2							1
	日本語の世界	1前・後		2							1
	英語圏の文学・文化	1前・後		2							1
	日本語と英語の比較	1前・後		2							1
	英語を学問するー理論と実践	1前・後		2							1
	建築文化論	1後		2					1		
	建築と歴史	1前		2					1		
	差別と暴力のない世界をめざして	1後		2							1
	カウンセリングの実際	1前		2							1
	実践カウンセリング	1後		2							1
	生涯福祉論	1前・後		2							1
	社会福祉とボランティア	1前・後		2							1
	福祉レクリエーションの実際	1後		2							1
	子育てと家族関係	1前		2							1
	「ふつう」を考える社会学	1前・後		2							1
	子育てと母性の気づき	1前		2							1
	現代社会と憲法	1前・後		2							1
	外国から見た日本社会のしくみ	1後		2							1
	消費者生活論	1前		2							1
	日本経済のしくみ	1前		2							1
英語で学ばせたい経済学	1前		2							1	
英語で学ぶお金の知識	1後		2							1	
我々のくらしと日本の産業	1前・後		2							1	
まちづくりと地方自治の役割	1前・後		2							1	
環境心理学入門	1前・後		2							1	
教養としての法律	1前		2							1	
暮らしと法律	1後		2							1	
現代の教育・保育事情	1前・後		2							3	
建築と社会	1前		2							1	
生命科学入門	1前		2							1	
環境問題の歴史	1前		2							1	
科学技術の歩み	1後		2							1	
生命科学の基礎	1前		2							1	
生活の中の物理学	1後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	最先端物理学が描く宇宙	1後		2							1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後		2							1
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前		2							1
	色彩情報	1前・後		2							1
	科学から考える衣服と生活	1後		2							1
	文化を創造する数学	1前		2							1
	科学への入門	1前・後		2							1
	韓国文化の理解	1前・後		2							1
	中国文化論	1前・後		2							1
	World English I	1前		2							1
	World English II	1後		2							1
	世界の中の日本人	1前		2							1
	国際協力入門	1前		2							1
	大学生活入門	1前・後		2							1
	Japanese Culture Influence I	1前		2							1
	Japanese Culture Influence II	1後		2							1
	モラルジレンマから考える私	1前		2							1
	女性のためのマーケティング	1前・後		2							1
	アジアのなかのジェンダー	1前・後		2							1
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後		2							1
	女性と教育	1前・後		2							1
	メディアに見るジェンダー	1前・後		2							1
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2							1
	女性と家族のゆくえ	1前・後		2							1
	文章表現の基礎	1前・後		2							1
	プレゼンテーションの基礎	1前・後		2							1
	日本語表現の基礎	1前・後		2							1
	自己アピールトレーニング	1前・後		2							1
	就活リテラシー	1前・後		2							1
	女性のためのライフプランニング	1前・後		2							1
	英語コミュニケーション I	1前・後		2							1
	英語コミュニケーション II	1前・後		2							1
	英語コミュニケーション III	1前・後		1							2
	英語コミュニケーション IV	1前・後		1							2
	英語リーディング I	1前・後		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	最先端物理学が描く宇宙	1後		2							1
	現代世界の教育	1前・後		2							1
	情報化と教育	1前・後		2							1
	女性と子どものヘルスケア	1後		2							2
	メディア技術と文字デザイン	1前		2							1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後		2							1
	色彩情報	1後		2							1
	科学から考える衣服と生活	1前		2							1
	科学への入門	1前・後		2							1
	数や図形の科学	1前・後		2							1
	健康を支える仕組み	1前・後		2							2
	生活習慣と脳と心と身体の科学	1前・後		2							1
	薬の歴史と未来	1後		2							2
	薬とからだ	1後		2							3
	健康生活とライフステージ	1前		2							3
	医薬品概論	1前		2							2
	はたらく細胞とくすり	1後		2							1
	身近にある科学	1後		2							1
	発達障害の理解とリエゾン支援	1前・後		2							1
	韓流ブーム	1前・後		2							1
	韓国文化の理解	1前・後		2							1
	中国文化論	1前・後		2							1
	World English I	1前		2							1
	World English II	1後		2							1
	世界の中の日本人	1前		2							1
	国際協力入門	1前		2							1
	音楽から見る人と世界	1後		2							1
	大学生活入門	1前・後		2							1
	テレビ映像と現代社会	1前・後		2							1
	Current Affairs in Japan I	1前		2							1
	Current Affairs in Japan II	1後		2							1
	モラルジレンマから考える私	1前		2							1
	女性のためのマーケティング	1前・後		2							1
	現代社会と保健医療	1後		2							1
	心理学トピックス	1後		2							1
	社会福祉の学び	1後		2							1
	スポーツリズムと地域創生	1後		2							1
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後		2							1
	女性と教育	1前・後		2							1
	メディアに見るジェンダー	1前・後		2							1
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2							1
	ジェンダーと社会	1前・後		2							1
女性が輝く社会づくり	1前・後		2							1	
セクシュアリティ入門 I	1前・後		2							1	
セクシュアリティ入門 II	1前・後		2							1	
文章表現の基礎	1前・後		2							1	
プレゼンテーションの基礎	1前・後		2							1	
自己アピールトレーニング	1前・後		2							1	
キャリアビジョンと人物評価	1前・後		2							1	
女性のためのライフプランニング	1前・後		2							1	
キャリアと学び	1前		2							1	
卒業生が語る仕事と人生	1後		2							1	
仕事力を考える	1前・後		2							1	
公務員の魅力	1前		2							1	
ヒューマンスキル入門	1前		2							1	
パーソナルコミュニケーション	1後		2							1	
チームで学ぶ課題解決	1前・後		2							1	
企業での女性活躍と働き方改革	1前・後		2							1	
企業で役に立つ情報収集と企画力	1前		2							1	
グローバル化と企業の海外展開	1後		2							1	
教員から見た社会人基礎力	1後		2							5	
ベンチャービジネス概論	1前		2							1	
ビジネスプラン構築概論	1後		2							2	
SOAR 人生100年をきり拓く力	1前・後		2							1	
企業の見方	1前・後		2							1	
英語コミュニケーション I	1前・後		2							1	
英語コミュニケーション II	1前・後		2							1	
英語コミュニケーション III	1前・後		1							1	
英語コミュニケーション IV	1前・後		1							1	
英語リーディング I	1前・後		1							2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	英語リーディングⅡ	1前・後		1							1
	英語ライティングⅠ	1前・後		1							2
	英語ライティングⅡ	1前・後		1							1
	TOEIC演習Ⅰ	1前・後		1							1
	TOEIC演習Ⅱ	1前・後		1							1
	TOEIC演習Ⅲ	1前・後		1							1
	TOEFL演習	1後		1							1
	Speaking & ListeningⅠ	2前		1							1
	Speaking & ListeningⅡ	2後		1							1
	Speaking & ListeningⅢ	3後		1							1
	Basics for PresentationⅠ	2前		1							1
	Basics for PresentationⅡ	2後		1							1
	Grammar for Communication	2前		1							1
	Reading & Writing	2後		1							1
	PresentationⅠ	3前		1							1
	PresentationⅡ	3後		1							1
	English for Careers	3前		1							1
	Reading & Discussion	3後		1							1
	Current EventsⅠ	4前		1							1
	Current EventsⅡ	4後		1							1
	Reading & Critical Thinking	4前		1							1
	Global CommunicationⅠ	4前		1							1
	Global CommunicationⅡ	4後		1							1
	Career Workshop	4後		1							1
	Writing for Daily Use	3前		1							1
	ドイツ語Ⅰ	1前・後		2							3
	ドイツ語Ⅱ	1前・後		2							1
	フランス語Ⅰ	1前・後		2							2
	フランス語Ⅱ	1後		2							1
	中国語Ⅰ	1前・後		2							3
	中国語Ⅱ	1前・後		2							3
	イタリア語Ⅰ	1前・後		1							1
	イタリア語Ⅱ	1前・後		1							1
	スペイン語Ⅰ	1前		2							1
	ハンブルⅠ	1前・後		2							2
	ハンブルⅡ	1後		2							1
	手話	1前		1							2
	特別英語演習Ⅰ	1前・後		4							1
	特別英語演習Ⅱ	1前・後		4							1
	特別中国語演習Ⅰ	1前		2							1
	特別中国語演習Ⅱ	1前		2							1
	特別ハンブル演習Ⅰ	1前		4							1
特別ハンブル演習Ⅱ	1前		4							1	
グラフィックデザイン基礎	1後		2							1	
フォトタッチ基礎	1前		2							1	
Webデザイン応用	1前・後		2							1	
Scratchによるプログラミング	1前・後		2							1	
情報社会を生きる技術	1前・後		2							1	
Accessデータベース基礎	1前・後		2							1	
データサイエンス入門	1前・後		2							1	
データサイエンス演習	1後		2							1	
スポーツと栄養	1前・後		2							1	
ダンス・ムーブメントセラピー	1後		2							1	
スポーツ実技(テニス)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(バレーボール)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(バドミントン)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(ジャズダンス)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(ダンスエアロ)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後		1							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	英語リーディングⅡ	1前・後		1							1
	英語ライティングⅠ	1前・後		1							2
	英語ライティングⅡ	1前・後		1							1
	TOEIC演習Ⅰ	1前・後		1							1
	TOEIC演習Ⅱ	1前・後		1							1
	TOEIC演習Ⅲ	1前・後		1							1
	TOEFL演習	1前・後		1							1
	TOEIC(初級)	1後		1							1
	Speaking & ListeningⅠ	2前		1							1
	Speaking & ListeningⅡ	2後		1							1
	Speaking & ListeningⅢ	3前		1							1
	Basics for PresentationⅠ	2前		1							1
	Basics for PresentationⅡ	2後		1							1
	Presentation	3後		1							1
	English for Careers	3前		1							1
	Reading & Discussion	3後		1							1
	Current Events	4前		1							1
	Reading & Critical Thinking	4前		1							1
	Global IssuesⅠ	4前		1							1
	Global IssuesⅡ	4後		1							1
	Career Workshop	4後		1							1
	ドイツ語Ⅰ	1前・後		2							2
	ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
	フランス語Ⅰ	1前・後		2							2
	フランス語Ⅱ	1後		2							1
	フランス語ⅠA	1前		1							1
	フランス語ⅠB	1後		1							1
	中国語Ⅰ	1前・後		2							4
	中国語Ⅱ	1前・後		2							3
	イタリア語ⅠA	1前・後		1							1
	イタリア語ⅠB	1前・後		1							1
	スペイン語Ⅰ	1前・後		2							1
	ハンブルⅠ	1前・後		2							3
	ハンブルⅡ	1前		2							1
	聴覚障害者の理解と手話言語	1前・後		2							1
	特別英語演習Ⅰ	1前・後		4							1
	特別英語演習Ⅱ	1前・後		4							1
	特別中国語演習Ⅰ	1前		2							1
	特別中国語演習Ⅱ	1前		2							1
	特別ハンブル演習Ⅰ	1前		4							1
	特別ハンブル演習Ⅱ	1前		4							1
	ハンブル検定演習	1後		1							1
WritingⅠ	3前		1							1	
WritingⅡ	3後		1							1	
Reading & StructureⅠ	2前		1							1	
Reading & StructureⅡ	2後		1							1	
Leadership Development	4後		1							1	
海外演習Ⅰ	1前		1							1	
海外演習Ⅱ	1前		2							1	
グラフィックデザイン基礎	1後		2							1	
フォトタッチ基礎	1前		2							1	
Webデザイン基礎	1前・後		2							1	
Webデザイン応用	1前・後		2							1	
Scratchによるプログラミング	1前・後		2							1	
情報社会を生きる技術	1前・後		2							1	
Accessデータベース基礎	1前・後		2							1	
データサイエンスの基礎とExcel	1前・後		2							1	
スポーツと栄養	1前・後		2							1	
知っておきたい応急処置	1前		2							1	
生涯スポーツ論	1前		2							1	
スポーツと現代社会	1前・後		2							1	
スポーツ実技(テニス)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(バレーボール)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(バドミントン)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(ダンスエアロ)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後		1							1	





科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	景観建築フィールドワークⅠA	1前		1		4	1		1			
	景観建築フィールドワークⅠB	1後		1		4	1		1			
	景観建築フィールドワークⅡA	2前		1		7	1		1			
	景観建築フィールドワークⅡB	2後		1		7	1		1			
	景観建築フィールドワークⅢA	3前		1		7	1		1			
	景観建築フィールドワークⅢB	3後		1		7	1		1			
	景観建築フィールドワークⅣ	4前		1		7	1		1			
	小計(57科目)	-		92	31	0	7	1	0	1	0	55
合計(219科目)	-		108	295	0	7	1	0	1	0	162	
卒業要件及び履修方法												
4年以上在学し、共通教育科目6単位以上(『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目」からそれぞれ2単位以上)、基礎教育科目の中から16単位、専門教育科目の中から106単位以上、合計128単位以上を修得すること。なお、基礎教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	景観建築フィールドワークⅠA	1前		1		4	1		1			
	景観建築フィールドワークⅠB	1後		1		4	1		1			
	景観建築フィールドワークⅡA	2前		1		7	1		1			
	景観建築フィールドワークⅡB	2後		1		7	1		1			
	景観建築フィールドワークⅢA	3前		1		7	1		1			
	景観建築フィールドワークⅢB	3後		1		7	1		1			
	景観建築フィールドワークⅣ	4前		1		7	1		1			
	小計(57科目)	-		92	31	0	7	1	0	1	0	48
合計(271科目)	-		108	394	0	7	1	0	1	0	182	
卒業要件及び履修方法												
4年以上在学し、共通教育科目6単位以上(『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目」からそれぞれ2単位以上)、基礎教育科目の中から16単位、専門教育科目の中から106単位以上、合計128単位以上を修得すること。なお、基礎教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))												









## 卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、共通教育科目6単位以上(『基礎教養科目群』中の「人文科学科目」及び「社会科学科目」からそれぞれ2単位以上)、基礎教育科目の中から16単位、専門教育科目の中から106単位以上、合計128単位以上を修得すること。なお、基礎教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。  
(履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))

## 卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、共通教育科目6単位以上(『基礎教養科目群』中の「人文科学科目」及び「社会科学科目」からそれぞれ2単位以上)、基礎教育科目の中から16単位、専門教育科目の中から106単位以上、合計128単位以上を修得すること。なお、基礎教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。  
(履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・共通教育科目構成の見直しにより「日本史の中の女性たち」を廃止。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「日本の画像文化論」を廃止。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「心理学入門」を廃止。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「人間関係の心理学」を廃止。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「心理学実践演習」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「江戸時代と現代の道徳の比較」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「鎌倉時代の文学への誘い」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本近代文学の魅力Ⅰ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本近代文学の魅力Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に『「昔話」と「昔語り」』を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「平安時代の文学への誘い」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本語と英語の比較」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「合唱表現Ⅰ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「合唱表現Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生活の中の美的感動表現」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「感性の書」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「書の世界」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「口承文芸入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生と死の心理学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「英語で学ぶやさしい経済学」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「世界の大学事情」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「現代世界の教育」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「情報化と教育」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「メディアに映る女性」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「災害と子ども・家族」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生きがい探しのボランティア論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「聴覚障害者の理解と手話」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「女性と子どものヘルスケア」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「経営学入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「情報と社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「メディア技術と文字デザイン」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「科学から考える衣服と生活」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「数的能力の発達過程」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「数や図形の科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生態学的視覚論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「視覚認知」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「身近な動植物の起源と歴史」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生命の恒常性と情報伝達」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「健康を支える仕組み」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生活習慣と脳と心と身体の科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「科学から考える衣服と生活」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「漢字がつなぐ東アジア」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「テレビ映像と現代社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「命を守る生体の機構と科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「Japanese Culture Influence Ⅱ」を廃止。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「モラルジレンマから考える私」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「セクシュアリティ入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目「就活リテラシー」の科目名を見直し、「キャリアビジョンと人物評価」に名称変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「キャリアデザインとライフプラン」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ヒューマンスキル入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「パーソナルコミュニケーション」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「チームで学ぶ課題解決」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「企業での女性活動と働き方改革」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「企業で役に立つ情報収集と企画力」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「グローバル化と企業の海外展開」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数変更のため共通教育科目「英語コミュニケーションⅢ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・開講クラス数変更のため共通教育科目「英語コミュニケーションⅣ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・開講クラス数変更のため共通教育科目「英語リーディングⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「TOEIC(初級)」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「PresentationⅠ」「PresentationⅡ」のうち、「PresentationⅡ」を廃止し、「PresentationⅠ」の科目名称を「Presentation」に、配当年次を「3後」にそれぞれ変更。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「Writing for Daily Use」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランス語ⅠA」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランス語ⅡA」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目「イタリア語Ⅰ」「イタリア語Ⅱ」の科目名を見直し、「イタリア語ⅠA」「イタリア語ⅠB」にそれぞれ名称変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「WritingⅠ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「WritingⅡ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Webデザイン基礎」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「Scratchによるプログラミング」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「障害者とスポーツ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「知っておきたい救急処置」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「女性の健康と運動」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技(水泳)」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技(サッカー)」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技(エアリアルワーク)」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「からだど気づきと姿勢法」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「マッサージ実習」を廃止。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目「学び発見ゼミ」の兼任・兼任教員の配置を「27」から「39(兼任31・兼任8)」に変更。
- ・科目内容の充実を図るため、専門教育科目「景観映像情報基礎」の担当教員に「教授1」「准教授1」を追加。



### 【令和3年度】

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランスの音楽と芸術文化」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築文化論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「都市形成のあゆみと都市生活」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「甲子園と阪神電鉄」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築と人間行動」を追加し、「専任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「まちづくりと地方自治の役割」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「色彩情報」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「薬の歴史と未来」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「薬とからだ」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「健康生活とライフステージ」を追加し、「兼任教員3」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「医薬品概論」を追加し、「兼任・兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「韓流ブーム」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「大学生活入門」を廃止。
- ・共通教育科目構成見直しのため「Japanese Culture Influence I」を廃止。
- ・共通教育科目構成見直しのため「女性と家族のゆくえ」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ジェンダーと社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「女性が輝く社会づくり」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「日本語表現の基礎」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「キャリアと学び」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「卒業生が語る仕事と人生」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「仕事力を考える」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「公務員の魅力」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数変更のため、「ドイツ語I」の教員配置を「兼任教員3」から「兼任教員2」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため「データサイエンス入門」の科目名を「データサイエンスの基礎とExcel」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため「データサイエンス演習」の科目名を「データサイエンスの応用とExcel」に変更。
- ・共通教育科目構成見直しのため「ダンス・ムーブメントセラピー」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生涯スポーツ論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツと現代社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「スポーツ実技（ビーチバレー）」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（バンジーエクササイズ）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（スタイルジャズ）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目「学び発見ゼミ」の兼任・兼任教員の配置を「29」から「39（兼任32・兼任7）」に変更。
- ・共通教育科目「教養としての法律」（1前）、「暮らしと法律」（1後）の配当年次を「1前・後」に変更。
- ・共通教育科目構成見直しのため「ミュージカルの実践」を廃止。
- ・指導体制強化のため、「景観映像情報基礎」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」「准教授1」「助教1」に変更。
- ・指導体制強化のため、「建築計画」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。

### 【令和4年度】

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ヨーロッパの名歌歌唱法」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「心理学入門」の配当年次を、1年前期・後期に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生活の中の心理学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本語の世界」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「英語圏の文学・文化」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本語と英語の比較」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「英語を学問する一理論と実践」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築と歴史」を追加し、「専任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「カウンセリングの実際」の配当年次を、1年前期に変更。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「実践カウンセリング」の配当年次を、1年後期に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「現代の教育・保育事情」を追加し、「兼任教員3」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築と社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「色彩情報」の配当年次を、1年後期に変更。
- ・オムニバス内容の充実のため、共通教育科目に「薬とからだ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「はたらく細胞とくすり」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「身近にある科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「発達障害の理解とリエゾン支援」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「音楽から見る人と世界」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「現代社会と保健医療」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「心理学トピックス」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「社会福祉の学び」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツツーリズムと地域創生」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「セクシュアリティ入門」を「セクシュアリティ入門Ⅰ」と「セクシュアリティ入門Ⅱ」に分割し、それぞれ「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「教員から見た社会人基礎力」を追加し、「兼任教員5」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ベンチャービジネス概論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ビジネスプラン構築概論」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「SOAR 人生100年をきり拓く力」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「企業の見方」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「TOEFL演習」の配当年次を、1年前期・後期に変更。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目に「中国語Ⅰ」の教員配置を「兼任教員3」から「兼任教員4」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目に「ハングルⅠ」の教員配置を「兼任教員2」から「兼任教員3」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため、共通教育科目に「手話」の科目名を「聴覚障害者の理解と手話言語」に変更し、「兼任教員2」から「兼任教員1」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ハングル検定演習」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Reading & StructureⅠ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Reading & StructureⅡ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Leadership Development」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「海外演習Ⅰ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「海外演習Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（フットサル）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目「学び発見ゼミ」の科目目的を明確にするため科目名に副題を追加し、兼任・兼任教員の配置を「29」から「1」に変更。
- ・担当者変更のため「景観建築設計演習Ⅲ」の専任教員の配置の「教授6」を「教授5」に、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・担当者変更のため「景観建築設計演習Ⅲ」の専任教員の配置の「教授6」を「教授5」に、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・担当者変更のため「建築都市緑化実習Ⅳ」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
43 科目	176 科目	0 科目	219 科目	43 科目 [0]	228 科目 [52]	0 科目 [0]	271 科目 [52]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。 (記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	日本史の中の女性たち	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。併設短大にて開講し履修可能。
2	日本の画像文化論	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。併設短大にて開講し履修可能。
3	ミュージカルの実践	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
4	心理学実践演習	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
5	カウンセリングスキル	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
6	都市形成のあゆみと都市生活	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
7	微生物がつくる発酵食品の不思議	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
8	文化を創造する数学	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
9	Japanese Culture Influence I	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
10	Japanese Culture Influence II	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
11	アジアのなかのジェンダー	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
12	女性と家族のゆくえ	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
13	日本語表現の基礎	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
14	Grammar for Communication	1	2前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
15	Reading & Writing	1	2後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
16	Presentation II	1	3後	一般	選択	Presentation I と科目統合しPresentationとして開講。
17	Current Events II	1	4後	一般	選択	Current Events I と科目統合しCurrent Eventsとして開講。
18	Writing for Daily Use	1	3前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
19	データサイエンス演習	2	1後	一般	選択	データサイエンス入門と科目統合し、データサイエンスの基礎とExcelとして開講。
20	ダンス・ムーブメントセラピー	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
21	スポーツ実技 (ジャズダンス)	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
22	スポーツ実技 (遊びと障害)	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
23	スポーツ実技 (ビーチバレー)	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。
24	マッサージ実習	1	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【所見】廃止科目はすべて「共通教育科目」の科目である。共通教育科目は全学部 of 学生が自由に選択でき、現代社会で通用する教養を養うことを目的に毎年度開講科目の見直しを行っており、廃止はその結果である。一方、同分野の内容を含む科目を多数新たに開講しており、教育に支障はないと判断している。また、併設短期大学において同内容の科目を開講し、受講を可能とする。

【学生への周知方法】  
学生向けに共通教育専用サイトを開設し、共通教育の目的、科目構成等について周知を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{24}{219} = \boxed{10.95}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期 大学部（必要面積 14,000㎡）と共用  駐輪場用途変更、校 舎敷地拡張、実験住 宅棟敷地取得（4）  駐輪場取得、西北新 校舎敷地取得（3） が一部艇庫竣工に伴う 用途変更（2）  堅忍寮ひろば処分（4）  校舎敷地と別地 （徒歩10分）  借用面積：1,129.19㎡ 借用期間：27年8月 （令和30年11月まで） 笠屋IH寮取得、堅忍 寮処分（4） 甲子園口寮取得 （2）		
	校 舎 敷 地		78,305.89 <del>77,280.48</del> 73,384.59		146,345.49 <del>145,320.08</del> 141,424.19			
	運 動 場 用 地		90,463.09 <del>92,502.75</del> 0		90,463.09 <del>92,502.75</del> 0			
	小 計	68,039.60 ㎡	168,768.98 <del>169,783.23</del> 165,887.34		236,808.58 <del>237,822.83</del> 233,926.94			
	そ の 他	0 ㎡	8,408.27 <del>9,627.66</del> 8,645.19		8,408.27 <del>9,627.66</del> 8,645.19			
	合 計	68,039.60 ㎡	177,177.25 <del>179,410.89</del> 175,515.00 <del>174,033.53</del>		245,216.85 <del>247,450.49</del> 243,554.60 <del>242,073.13</del>			
(2) 校 舎	専 用	72,030.11 <del>72,132.24</del> 71,726.26 <del>72,010.29</del>	119,576.65 <del>120,147.32</del> 114,909.84 <del>115,270.75</del>		191,606.76 <del>192,279.53</del> 186,636.07 <del>187,281.04</del>	武庫川女子大学短期 大学部（必要面積 10,450㎡）と共用  景観建築スタジオ西 館新築、生活環境2号 館新築新築、食物栄 養科学館別館新築、 同面積差異修正、実 験住宅棟取得、訪問 看護ST廃止（4）  景観建築スタジオ東 館新築、同面積差異 修正、甲子園会館内 研究用途変更、西 北新校舎取得、マルメ テ7館内研究用途 変更（3） ステーションキャンパス・公江 記念館竣工に伴う面 積差異修正（2）		
	共 用	(69,261.21) <del>(69,363.31)</del> <del>(67,972.36)</del> (68,256.39 ㎡)	(115,507.65) <del>(116,078.32)</del> <del>(110,840.81)</del> (111,201.75 ㎡)	(0 ㎡)	(184,768.86) <del>(185,441.63)</del> <del>(178,813.17)</del> (179,458.14 ㎡)			
	共用する他の 学校等の専用							
	計							
	講 義 室	156 <del>153</del> 室	212 <del>208</del> 室	455 <del>442</del> 室	12 室 (補助職員 1人)		4 室 (補助職員 3人)	
	実 験 実 習 室							
(3) 教 室 等	新設学部等の名称		室 数		室数変更（4） 大学全体			
(4) 専任教員研究室	建築学部 景観建築学科		9 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電 子ジャーナル・視聴 覚資料については、 学部単位での特定不 能なため、大学全体 の数  図書、学術雑誌、視 聴覚資料の充実によ る増加（4）
	建築学部	700,104(163,545) <del>688,270</del> 〔165,053〕 (700,104(163,545)) <del>(688,270</del> 〔165,053〕)	9,552(1956) <del>9,489</del> 〔1,025〕 (9,552(1956)) <del>(9,489</del> 〔1,025〕)	8,832(7,281) <del>60,886</del> 〔55,801〕 (8,832(7,281)) <del>(60,886</del> 〔55,801〕)	11,241 <del>14,140</del> (11,241) <del>(14,140)</del>	2,852 <del>(2,817)</del>	0 <del>(0)</del>	
	計	700,104(163,545) <del>688,270</del> 〔165,053〕 (700,104(163,545)) <del>(688,270</del> 〔165,053〕)	9,552(1956) <del>9,489</del> 〔1,025〕 (9,552(1956)) <del>(9,489</del> 〔1,025〕)	8,832(7,281) <del>60,886</del> 〔55,801〕 (8,832(7,281)) <del>(60,886</del> 〔55,801〕)	11,241 <del>14,140</del> (11,241) <del>(14,140)</del>	2,852 <del>(2,817)</del>	0 <del>(0)</del>	
(6) 図 書 館	面 積	12,499.61 ㎡	閱 覧 座 席 数	1,740 <del>1,716</del> 1,688	収 納 可 能 冊 数	868,000	座席数増（4） 座席数増（2） 大学全体	
(7) 体 育 館	面 積	17,497.24 <del>17,308.50</del> ㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要				スタジオ新設（2） 大学全体	
			総合スタジアムスタンド、各グラウンド内のトイレ、更衣室、 ステーションキャンパス内トレーニングスタジオ					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には、電子 ジャーナル、データ ベースの整備費（運 用コスト含む）を含 む。 納付金変更（4）
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	433千円	433千円	図書購入費	5,240千円	5,240千円	
		共同研究費等	9,100千円	9,100千円	設備購入費	38,200千円	38,200千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	1,500+460千円	1,640+540千円	1,640+540千円	1,640+540千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要							私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	武庫川女子大学					学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
文学部	4	510	3年次67	2,174	—	0.98	0.91	—	昭和33	—	
日本語日本文学科	4	150	3年次25	650	学士 (日本語日本文学)	1.00	0.98	—	昭和33	兵庫県西宮市池開町6番46号	
英語文化学科	4	200	3年次25	850	学士 (英語文化学)	0.93	0.76	—	昭和33	同上	
教育学科	4	—	—	—	学士(教育学)	—	—	—	昭和38	同上	平成31年4月学生募集停止
心理・社会福祉学科	4	160	3年次17	674	学士(心理学)又は (社会福祉学)	1.02	1.04	—	平成12	同上	
教育学部	4	240	3年次25	1,010	—	0.97	1.06	令和元	令和元	—	
教育学科	4	240	3年次25	1,010	学士(教育学)	0.97	1.06	令和元	令和元	兵庫県西宮市池開町6番46号	
健康・スポーツ科学部	4	180	3年次20	760	—	1.05	1.22	—	平成23	—	
健康・スポーツ科学科	4	180	3年次20	760	学士 (健康・スポーツ科学)	1.05	1.22	—	平成23	兵庫県西宮市池開町6番46号	
生活環境学部	4	315	3年次20	1,300	—	1.03	1.12	—	平成6	—	
生活環境学科	4	165	3年次20	700	学士 (生活環境学)	1.05	1.18	—	平成6	兵庫県西宮市池開町6番46号	
食物栄養学科	4	—	—	—	学士 (食物栄養学)	—	—	—	平成6	同上	令和2年4月学生募集停止
情報メディア学科	4	150	—	600	学士 (情報メディア学)	1.04	1.06	—	平成6	同上	
建築学科	4	—	—	—	学士 (建築学)	—	—	—	平成18	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年4月学生募集停止
食物栄養科学部	4	280	3年次15	1,150	—	0.93	1.09	令和2	令和2	—	
食物栄養学科	4	200	3年次10	820	学士 (食物栄養学)	0.97	1.12	令和2	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号	
食創造科学科	4	80	3年次5	330	学士 (食創造科学)	0.85	1.01	令和2	令和2	同上	
建築学部	4	85	—	340	—	1.06	1.08	令和2	令和2	—	
建築学科	4	45	—	180	学士(建築学)	1.16	1.15	令和2	令和2	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	
景観建築学科	4	40	—	160	学士 (景観建築学)	0.95	1.00	令和2	令和2	同上	
音楽学部	4	50	—	200	—	0.83	0.80	—	平成21	—	
演奏学科	4	30	—	120	学士(音楽)	0.60	0.53	—	平成21	兵庫県西宮市池開町6番46号	
応用音楽学科	4	20	—	80	学士(応用音楽)	1.16	1.20	—	平成21	同上	
薬学部(6年制)	6	210	—	1,260	—	0.83	0.65	—	平成18	—	
薬学科	6	210	—	1,260	学士(薬学)	0.83	0.65	—	平成18	兵庫県西宮市 甲子園九番町11番68号	
薬学部(4年制)	4	40	—	160	—	0.91	0.92	—	平成18	—	
健康生命薬科学科	4	40	—	160	学士(薬科学)	0.91	0.92	—	平成18	同上	
看護学部	4	80	—	320	—	1.03	1.26	—	平成27	—	
看護学科	4	80	—	320	学士(看護学)	1.03	1.26	—	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号	
経営学部	4	200	—	800	—	1.02	0.94	令和2	令和2	—	
経営学科	4	200	—	800	学士(経営学)	1.02	0.94	令和2	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号	
大学全体	—	2,190	3年次147	9,474	—	—	—	—	—	—	

大学の名称	武庫川女子大学大学院				学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	2	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度
文学研究科										
日本語日本文学専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(文学)	0.12	0.08	—	昭和46	兵庫県西宮市池開町6番46号
日本語日本文学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(文学)	0.22	0.00	—	平成3	同上
英語英米文学専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(文学)	0.12	0.08	—	昭和46	同上
英語英米文学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(文学)	0.33	0.00	—	平成12	同上
教育学専攻(修士課程)	2	6	—	12	修士(教育学)	0.16	0.16	—	平成17	同上
臨床心理学専攻(修士課程)	2	20	—	40	修士(臨床心理学)	0.80	0.95	—	平成11	同上
臨床教育学研究科										
臨床教育学専攻(修士課程)	2	16	—	32	修士(臨床教育学)	0.52	0.62	—	平成6	同上
臨床教育学専攻(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(臨床教育学)	0.21	0.16	—	平成9	同上
健康・ｽﾎｰﾙ科学研究科										
健康・ｽﾎｰﾙ科学専攻(修士課程)	2	20	—	40	修士(健康科学)又は(ｽﾎｰﾙ科学)	0.27	0.40	—	平成23	同上
生活環境学研究科										
食物栄養学専攻(修士課程)	2	—	—	—	修士(食物栄養学)	—	—	—	昭和41	同上
食物栄養学専攻(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(食物栄養学)	—	—	—	平成2	同上
生活環境学専攻(修士課程)	2	6	—	12	修士(生活環境学)又は(情報ｼﾞｮｲﾝﾄ)	0.00	0.00	—	平成12	同上
生活環境学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(生活環境学)又は(情報ｼﾞｮｲﾝﾄ)	0.00	0.00	—	平成12	同上
食物栄養科学研究科										
食物栄養学専攻(修士課程)	2	8	—	16	修士(食物栄養学)	0.87	0.87	令和4	令和4	同上
食物栄養学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(食物栄養学)	0.50	0.50	令和4	令和4	同上
食創造科学専攻(修士課程)	2	4	—	8	修士(食創造科学)	0.25	0.25	令和4	令和4	同上
食創造科学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(食創造科学)	0.00	0.00	令和4	令和4	同上
建築学研究科										
建築学専攻(修士課程)	2	22	—	44	修士(建築学)	0.97	1.09	令和2	令和2	同上
建築学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(建築学)	0.33	0.50	令和2	令和2	同上
景観建築学専攻(修士課程)	2	6	—	12	修士(景観建築学)	1.83	1.33	令和2	令和2	同上
景観建築学専攻(博士後期課程)	3	1	—	3	博士(景観建築学)	0.00	0.00	令和2	令和2	同上
薬学研究科										
薬学専攻(博士課程)	4	2	—	8	博士(薬学)又は(臨床薬学)	0.12	0.00	—	平成24	兵庫県西宮市甲子園九番町11番68号
薬科学専攻(修士課程)	2	30	—	60	修士(薬科学)	0.18	0.10	—	平成22	同上
薬科学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(薬科学)又は(応用薬科学)	0.83	0.00	—	平成24	同上
看護学研究科										
看護学専攻(修士課程)	2	15	—	30	修士(看護学)	0.79	0.73	—	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号
看護学専攻(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(看護学)	1.48	1.00	—	平成29	同上
大学院全体	—	207	—	446	—	—	—	—	—	

令和4年4月学生募集停止  
令和4年4月学生募集停止

大学の名称	武庫川女子大学短期大学部				学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍			
日本語文化学科	2	100	—	200	短期大学士(日本語文化学)	0.51	0.41	—	昭和26	兵庫県西宮市池開町6番46号
英語キャリア・コミュニケーション学科	2	100	—	200	短期大学士(英語コミュニケーション学)	0.32	0.24	—	昭和25	同上
幼児教育学科	2	150	—	300	短期大学士(幼児教育学)	0.51	0.64	—	昭和26	同上
心理・人間関係学科	2	100	—	200	短期大学士(心理・人間関係学)	0.49	0.43	—	昭和62	同上
健康・スポーツ学科	2	80	—	160	短期大学士(健康・スポーツ学)	0.52	0.57	—	昭和30	同上
食生活学科	2	80	—	160	短期大学士(食生活学)	0.61	0.61	—	昭和26	同上
生活造形学科	2	90	—	180	短期大学士(生活造形学)	0.73	0.73	—	昭和25	同上
短期大学全体	—	700	—	1,400	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



## 5. 教員組織の状況

(掲載省略)

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時  (令和元年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項  完成年度前に定年年齢（66歳）を超える教授3人については、余人をもって代えがたい存在であることから、理事会において学部完成年度末までの雇用継続が理事会において承認されている。完成年度までの教育研究活動の継続に問題はないが、教員組織編成の将来構想について検討、右記実施計画を策定した。	履行中  定年規程を適切に運用することとし、教育・研究の継続性をより確実とするため、①若手人材を意識的に採用するべく中期的な人員計画を策定する。②募集は公募形式を中心とし、特に高年齢に偏らないよう年齢構成に留意して募集する。③教員採用において年齢構成のバランスについてこれまで以上に厳格な確認、協議を行う。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<建築学部 景観建築学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

###### 【武庫川女子大学FD推進委員会】

平成20年1月に学長直属の全学組織として設置。構成員は、全学部学科等から選出された委員（各1人）と教務部長及び学長が委嘱した委員（令和3年度21人、令和4年度21人）。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

###### 【武庫川女子大学FD推進委員会】

令和3年度の委員会の開催は7回（5・6・7・10・11・12・2月）、出席率は78.9%。（7回の平均）。

##### c 委員会の審議事項等

###### 【武庫川女子大学FD推進委員会】

- (1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 教員の研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の教授法及び教授活動の相互研鑽に関する事項
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項
- (5) 各学科の教員へのFD活動の啓発に関する事項
- (6) 教員の教授活動の支援に関する事項
- (7) その他、学長の諮問する事項及び委員会が必要と認めた事項

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

###### 【武庫川女子大学FD推進委員会】

- ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施
- イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施
- ウ. FDニュースの編集・発行
- エ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有

令和2年度から、オンラインにて委員会を開催している。

###### 【建築学部・建築学研究科におけるFD活動】

建築学部・建築学研究科における独自のFD活動として、全ての科目の毎日の授業について授業報告書の提出を義務付け、各教員が他の教員の授業内容を確認、点検できるようにする。

###### 【上記の他、大学として行っているFD/SD活動の内容】

###### オ. 新任教員研修

##### b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む）

###### ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施

- ・教育改革講演会の開催（令和3年8月実施。テーマ：「大学の授業運営における著作権の考え方について」）
- ・FDオンラインカフェの開催（令和4年3月実施。テーマ：「遠隔だからこそ良かった点、難しかった点～ポストコロナに向けた今後の授業の方向性～」）

・学生FD（令和4年2月実施。概要：Google ClassroomとFormsを活用した学生座談会）

・その他、共通教育部や総合情報システム部等他部門との共催企画

###### イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施

- ・前期、後期にそれぞれ期間を設けて授業公開を実施。
- ・日々の教育活動の中で授業改善につながるより良い授業方法の工夫と実践に取り組む教員への奨励制度の企画・運営。

###### ウ. FDニュースの編集・発行

・「FDニュース第20号」を令和3年12月に発行。ホームページでも公開。

###### エ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有

・各学科におけるFDの取組み状況の調査・報告。

###### オ. 新任教員研修

・本学の教育支援システムや、教育方法等の紹介、新任教員の同僚性の構築等を目的としたオンラインと対面のハイブリッド形式での研修を全15回実施。

・令和4年度についても、対面とオンラインのハイブリッド形式による15回のプログラムを計画している。

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- ・平成26年4月、事務局組織に「教育開発支援室」を設置（現在は「教育開発推進室」）し、大学教育改革推進委員会やFD推進委員会の庶務を担う専任職員を配置して全学の教育活動の支援体制を整えている。同室では、学外で開催されるFD関係の研修会や高等教育に関連する研究会などについて、学内システムを利用して教員に案内し、教員の質向上につながる取り組みを行っている。
  - ・従来から実施している授業評価アンケートに加え、令和3年度は学生FDを実施することで多面的な実態を把握し、その情報を共有することにより、授業の質の担保・改善を図った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

例年、以下のa、bの通り実施。

a 実施の有無及び実施時期

- (1) 実施時期 前期（7月）、後期（12月中旬～1月初）  
(2) 調査方法 学内の「授業アンケートシステム」に学生が直接入力

b 教員や学生への公開状況、方法等

前期及び後期とも、授業担当者は授業期間内に、アンケート結果に対して学生に改善点等を含んだフィードバックを行うとともに、その結果はパソコン上でも閲覧可能としている。  
大学院も平成29年度より、原則、全ての研究科において講義科目を対象に実施。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

建築学部景観建築学科は、「自然と共生する社会に貢献できる建築・景観設計技術者を養成する。そして真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を、自然との共生や景観映像情報技術の幅広い学びを通して培うことを目的とする」という趣旨・目的の下で設置された。

まだ卒業生が出ていない段階で、設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価を行う段階にはないが、開設から3年間の平均入学定員超過率は0.95倍と、安定した学生確保を実現している。日本初となる景観建築学科の特色が評価されたものと判断できる。コロナ禍の中であるが、遠隔授業と感染予防に留意したスタジオ型教育を組み合わせながら設置の趣旨・目的達成のため教育効果を高めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和5年3月31日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和5年3月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・本年度（令和4年度）に評価機関（公益財団法人大学設置基準）の評価を受ける。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・ 無 ]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 その他（ ） ]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。